始

ㅋ4L30

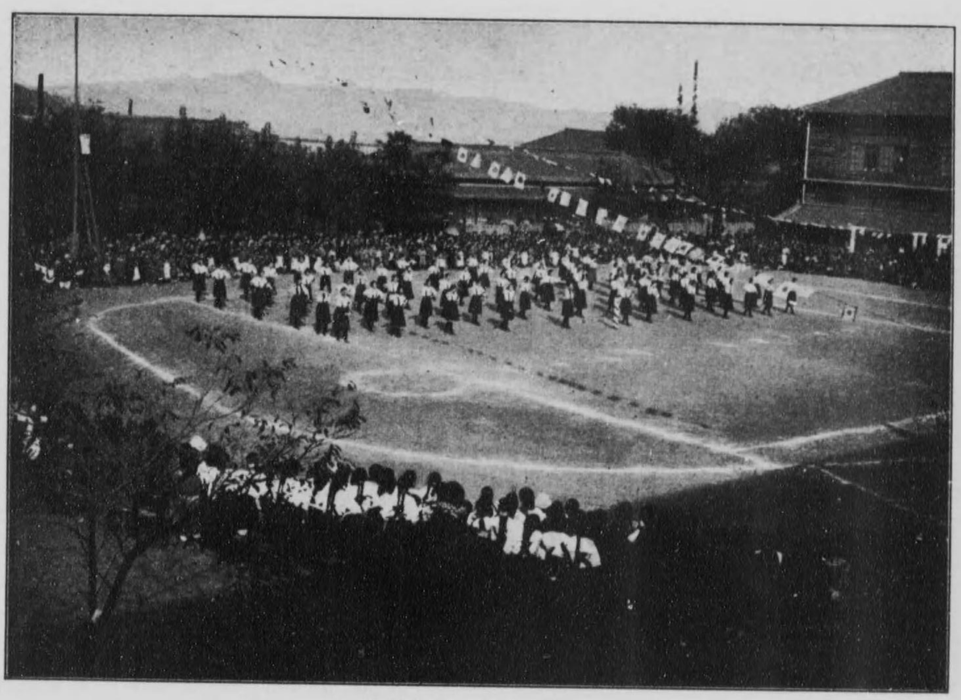
學校舞踏三十四講

小瀨峰洋著

…1925…

大正
14. 9. 8
内交

アスレチックダンスの實演
右の木陰に白の上半身を現はせるが著者



キウバダンスの實演

序

體育の向上を計るには先づ二つの事を考へねばならぬ。その一つは國民全般の體育向上普及を計ることで、一つは優秀なる世界的大選手を作ることである。世界的大選手は國民全般の體位向上の結果として現はれるのでなくては眞の國民的體育目的に相應しくない。而るに現時の我が國に於ける體育の狀況を見る時、一般的にも若干の向上はしつゝあると云ひ得るも、寧ろ大選手を得ることを重く見て、一般的普及を輕じんてゐる傾向ではあるまいか。之がやがて學校教育の上に大關係を及ぼし、國民教育の小學校に於てすら全般的體育向上を度外視した、大選手養成の眞似事が可成鮮明になつてゐることは、國家將來の爲に憂ふべき現象ではあるまいか。

一般體育の向上普及を計るには、歐米先進國の如く組織的奬勵と實行に待たねばならぬ。彼の獨逸に於ける DENTSEHE TURNERSCHAFT. の如きは、其下に幾多の KREIS あり KREIS は更に幾多の GAU に分れ GAU は今日十萬一千六百十五個の TURN. FEREIN

に分れ會員總數五百九十八萬人で、而も其會員は悉く體育の實行者であるといふ。我が國に於ては古く體育協會、近くは體育聯盟生れて體育の組織的奬勵をするに至つた事は悦ぶべき事ではあるが、獨逸のそれの如く會員全部が體育實行の士ではない。尚又國民の基礎をつくる小學校に於てすら組織的奬勵はされつゝあるも、全般的實行を疑ふのである。

學校に於て全般的實行を望むには、組織的奬勵と共に其材料に十分の注意を拂はねばならぬ。兒童身體の强弱、男女の如何に關係なく好んでやり得る體育的材料を組織の上に重要視せねばならぬ。而るに體操、競技に關しては巷間幾多の書籍を見るも、遊戲方面殊に學校ダンスに關する書籍の乏しき今日、學校體育の全般的の向上普及を期待することは至難ではあるまいか。此際私は此種の研究に杆頭一歩を進めて、學校の育の全般的實行を促進し、以て國民全般に體育實行の基を作る一端にもと、本書を公にすることに致しました。

元より私は淺學不才の質、幸に讀者諸彦、文脈の拙なるを責むることなく私の奉公の微意を諒せられんことを希ふものである。

擱筆するに當り神山峰吉氏の御厚意を謝す。

大正十四年六月

青葉茂る東輕井澤の寓居にて

峰洋識す

276-368

ダンスの分類

ダンスの種類は時代に依り國に依つて頗る多岐多葉に渡つてゐるから、分類も亦時と處と人に依つて種々であるが、私は大體性質上から見て、次の五種類に包含されると思ひます。

一、宗教ダンス(AESTHETICS DANCE)は古くより宗教的儀式に一定の人に依つて行はれ、或は一般の人に依つても行はれてゐる。我國の神前に於て行ふ神樂の如きは此部類に屬するもので、此ダンスは一般に溫雅にして嚴肅の感がある。

二、演劇ダンス(STAGE DANCE)は職業として專門家が舞臺の上で觀客を相手に演ずるダンスで、近來我が國の劇場にも此の種のダンスが可成盛に行はれる樣になつた。此種のダンスは觀客を目的とする一種の職業的ダンスである關係上、サロメやタンゴの如く美的に動作を組立られ、而も肉感的である。

三、社交ダンス(SCCIAL DANCE)は夜會、宴會等に社交の方便として古くより西洋

に行はれ、我が國にも近時東京あたりの一部の人の間に、可成盛に行はれ出したが、震災に依つて一時中絶し、最近再び復興の氣運に向つてゐる。ワンステツプ、ワルツの如きは此種に屬するものである。

四、娯樂ダンス（AMUSEMENT DANCE）は民衆自身の娯樂の爲に行ふもので、我が國の盆踊の如きは此種に屬するのである

五、學校ダンス（SCHOOL DANCE）は歐洲に於ては古くギリシヤ時代より教育の主要なる一手段として盛に行はれてゐる。我が國に於ては近時漸く之を教育上に利用しかけて來たことは、注目すべき一現象といはねばならぬ。此種のダンスは更に大體次の様に類別することが出來る。

A、遊戲ダンス（FOLK DANCE）は謂所表情遊戲に近いダンスで、一般に調子速く低學年の兒童に適するものである。チルドレンポルカ、マウンテンマーチ等の様なダンスである。

B、競技ダンス（ATHLETIC DANCE）はランニング、圓盤投等の競技のフォームをダンスに組立たもので、體育上有効であるのみならず、競技を教ふる前、體のコナシ要領を教ふる手段に用ふれば一層速く確實に競技の要領を得さしむるに好都合である。

C、體操ダンス（CALISTHENICS DANCE）は獨逸の柔軟體操、或は瑞典の徒手體操の様な所謂體操の形を、連續的に輕く、柔く、滑かにやり得る様組立たものである。

學校舞踏史

ダンスは古くから人類の住む處、少くとも部落を形づくる處には、其人情、風俗氣候、風土に依つて種々の系統を有し、それぞれ各獨特の目的と形式を以て行はれ、文化の進歩と共に内容にも形式にも、幾多の改廢を經て今日に至つた。今日行はれてゐるものは頗る多種多様ではあるが、大體次の五種に包含されると思ふ。

一、宗教的のもの
二、娯樂的のもの
三、演劇的のもの
四、社交的のもの
五、教育的(學校)のもの

五の教育的のもの、即ち學校ダンスが如何に芽生て、今日まで育つて來たか、又如何に教育上重く用ひられたかに就て記すことにした。

古く歐亞兩大陸に翔を張つたギリシヤの國民教育に於ては、肉體美を發揮して身體の整然と優雅とを現はす根本的運動は、學校ダンスであるとし主要教科の一であ

つた。ソクラテスにせよ、プラトウにせよ、ダンスの價値を認めて熱心なる鼓吹をした。從つてギリシヤ體育の流れを酌める各國は、何れもダンスを體育の一主要教材としたのである。更に下つてローマ全盛の素因は一に體育にあるといはれ、其體育の一手段としてダンスの奬勵された事はいふまでもない。ローマの末葉より暗黑時代にかけては、一般體育熱が下火になつた爲、ダンスも亦輕んぜらるゝに至つた。殊に耶蘇舊教に於ては強き身體の持主は、神慮に叛くとして宗教學校に於ては體育を禁止した爲に、自然ダンスも殆ど其影を失つた。マルチンルテールは、宗教改革の一手段として體育を奬勵するや、ダンスも亦ギリシヤ、ローマのそれの如く勃然と復興の氣運に向つた。近代に於ける大教育者として、又人形體操の創始者であるペスタロツチや、獨逸體操の創始者グーツムーツ、ヤーンなどは、代表的ダンスの鼓吹者であつたのである。今日に於ては歐米先進國は何れも國民體育の主要なる一手段として、ダンスを學校教育の上に用ひてゐる。殊に注目すべきはスウエーデン

體操の本場であるスウエーデンは、極最近までダンス排斥の旗頭であつたにも關らず、今日は之を國民教育の上に取入れたが如きは、如何にダンスの教育的價値を認めたかを證明するものである。

我が國に於ては明治四十年前後、學校ダンスに近きものが學校教育の上に用ひられ、一時は地方に依つて可成盛に行はれたが、研究が不十分であつたのと、一般社會に不了解であつた爲、次第に其影を薄らぎ近年まで極く熱心なる少數の人に依つて、僅に其命脈を繋ぎ來た有樣である。最近一般體育研究の進むにつれ、いよ〳〵本物の學校ダンスが教育上重要視されるに至つた事は、誠に意義あることゝいはねばならぬ。

學校舞踏の教育的價値

ダンスの教育上に於ける價値を大體摘記して見ると次の樣である。

一、全身的にして、且人間が日常生活に必要なる細筋の練習に依り人間の進化を助く。

二、動作が曲線的で、而も輕快であるから美感を養ひ溫雅な品性を養ふ。

三、他の運動の如く場所、用具、性別、强弱、老幼に制限されず、自由に行ひ得られ、而もチームスピリツトを養ふ。

要は、體操、競技の缺陷を補ひ、一面ダンス獨特の長所を發揮するを以て、學校體育に體操競技と併用すれば體育の滿全を期することが出來る。

尙、ダンスに對する大家の言、並びに今日の事實の一端を記すことにした。

一、ホーマー曰く、ダンスは人間の肉體美を發揮する根本的運動であると。

二、プラトウ曰く、ダンスは人間の善良なる活動性を增すと。

三、ソクラテス曰く、ダンスは自由で、優美な態度と輕快な動作を與へ、課業に興味と慰安とを與ふと。

四、ヘラクレス曰く、强き神經作用を起して、人間の想像及び動作の上に好結果を與へ、身體と精神とを健全に愉快にすと。

五、グーツムーツ曰く、ダンスは輕快なる行動を以て身體の整然と優雅とを結合し快活にして氣力を養ふと。

六、ヤーン曰く、ダンスは風彩を作り、よき態度をつくるといひ、又、身體の文化であり藝術であると。

七、ジヤツクデルルロース曰く、ダンスは感情と調律的な、身體運動によりて表現する藝術であると。

八、歐米各國とも今日ダンスを學校體育の主要なる一敎材として採用しつゝあること。

九、瑞典はダンス排斥の旗頭であつたが、最近之を學校體育教材として課すること
になつたこと。

學校舞踏の取扱ひに就て

我が國に於て明治四十年前後にスクールダンスに近い運動が地方に依つて可成盛に行はれてゐたのに、幾何もなくして其影を認めなくなつたのは、ダンスに對して實際家の研究が不足の爲に信念がなかつた事と、一つは社會一般が非教育的な身體も精神も共に破壞する樣な、社交ダンスと混同して非難排斥したからである。從つて今日の實際家は、スクールダンス勃興の氣運に際しては、その實施取扱ひに關して相等の注意を拂はねばならぬ。此點から私は種目の撰擇に就ては相當の注意を拂つて、教育の目的を貫徹し得る樣につとめてゐるから教授者も私の意を酌んでもらひ度ひのである。

目次

一、ダンスの分類 …… 一
二、學校舞踏史 …… 三
三、學校舞踏の教育的價値 …… 五
四　學校舞踏の取扱ひに就て …… 八
五、種　目 …… 一一

A　第一學年以上の部

サークルダンス …… 一一
チエヤフルダンス …… 一一
チルドレンポルカ …… 一一
ネクシーポルカ …… 一一
トモエダンス …… 一一

B　第二學年以上の部
トロイカ……一四
ビウティフルダンス……一七
リボンタンス……二〇
ラフティタフティ……二四
トウリジヨン……二七
シユーメーカダンス……三〇
C　第三學年以上の部
ダンスオブジヨイ……三六
カーデイナルタンス……四〇
ブリツキング……四五
ジヨイフルダンス……四八
オツクスダンス……五三

ミツクスダンス……五八
ヴアジニヤリール……六一
D　第四學年以上の部
ゼエスオブダイヤモンド……六五
リーブゼフラツクス……六八
ポルカカケツツカ……七七
アスレチツクダンス……七九
一、ランニングダンス
二、砲丸投ダンス
三、立幅跳ダンス
四、槍投ダンス
五、走高跳ダンス
六、圓盤投ダンス
七、リレーレースダンス
マウンテンマーチ……八六

E　第五學年以上の部
ディアフレンド……八八
パーンダンス……九二
ハンガリヤンザーダスダンス……九七
ベンゲルカンマーチ……一〇一
キヤリスニツクダンス……一〇五
カマリンスカイヤ……一〇九
F　第六學年以上の部
ワークダンス……一一五
ウオツシユメンダンス……一一九
カローヴアチカ……一二三
ホツプダンス……一二八
キウバダンス……一三四

サークルダンス

一、適用　尋常一年以上男女

二、準備　二列縦隊の圓陣を作り、隣合へる手の肘を屈げて繋ぎ他の手を腰にとる。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

(一)より(十六)まで右足より始めスキツプホツプにて圓を右廻りに廻り、(十六)の時外側生が内側生の前に出で、一列縦隊となり全部手を繋ぎて圓の中心に向ふ次の八呼間は矢張り右廻りに、横ガロツプにて廻る。

次の八呼間は横ガロツプにて左廻りに元の方へ歸る。

第二節　三十二呼間

(一)より(四)まで右足より圓の中心に向つて進み、(五)より(八)まで四歩足踏み

をなす。

次の八呼間は（一）より（四）まで右足より後方に退き、（五）より（八）まで足踏みをなす。

次の八呼間は相手と向ひ合ひ右肘を組み、左手腰、駈足歩で右廻り一廻轉をなす。

次の四呼間に左肘を組み右手を腰にして駈足歩で左廻り一廻轉をなす。

次の四呼間に内側生は最初の位置の後方に四歩後退して、新しき相手の内側生となりて準備姿勢となる。

五、注意事項

A、前二節を幾回となく繰返して行ふ。

B、圓を左廻りに行ふもよし。

チエヤフルダンス

一、適用　尋常一年以上男女

二、準備　一列の圓陣を作り兩手間隔に開いて兩手を腰にとる。

三、拍子　二拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

（一）で兩足で跳んで左足を左に出し、足尖を床上に着け、（二）で跳んで兩足を揃へ足尖にて立ち（三）より（八）まで同樣の運動を繰り返す。

次の八呼間は右足にて同樣に行ふ。

次の十六呼間は左右交互に足を換へて前同樣の運を繰り返す。

第二節　三十二呼間

（一）で兩手の指を自由に開いて上擧し、手頸を前後に廻しながら圓心に向つて

(八)まで進む。

次の八呼間は兩手を前の如くしながら後退して舊位置に復す。

次の十六呼間は前十六呼間を繰り返す。

第三節　三十二呼間

(一)で左足にて立ち右足を後ろに擧げ、右手を右斜上方に伸ばし、左手を反對の方向に伸ばして、(八)まで右足ホップで圓心に進む。

次の八呼間は手足を換へ後退して舊位置に復す。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰り返す。

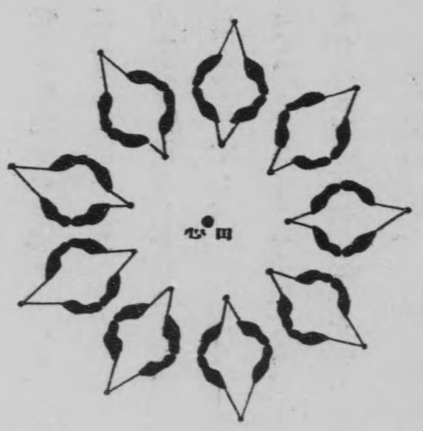
五、注意事項

一列の圓陣のみならず二列とし又は體操隊形にて行ふもよし。

チルドレンポルカ

一、**適用**　尋常一年以上男女

二、**準備**　一列縱隊の圓陣を作り一、二の番號を附して、一番生は後ろ向きとなりて二番生と向き合ひ兩手を側擧して繋ぐ。



三、**拍子**　四拍子

四、**方法**

第一節　三十二呼間

(一)で圓心に近き足を一歩圓心の方に踏み出し、(二)で次の足を移して揃へ、(三)は(一)、(四)は(二)に同じ。(五)より(七)まで三歩足踏みし、(八)は休む。

次の八呼間外側に同様の運動を行ふ。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰り返す。

第二節　十六呼間

(一)で繋手を解いて、各自分の股を輕く打ち、(二)は休む。(三)で拍子一回、(四)は休む。(五)より(七)まで三回相手と手を打ち合ひ、(八)は休む。

次の八呼間は前八呼間を繰り返す。

第三節　十六呼間

(一)で右足を前に出し、右手は人差指のみ伸ばして輕く一回前に振る、此時左手は自分の右肘を支ふ。(二)(三)の二呼間更に右手を二回振り、(四)は直立、(五)

より(八)まで前四呼間と手足を交換して反對に行ふ。

次の八呼間は(一)で左手腰、右手にて相手の右手を一回打つと同時に左足より一歩足踏みして左に廻り始め、(二)より(七)まで一呼間一歩の割に足踏みしながら一廻轉して舊位置に復し、(八)は休む。

五、注意事項

人數に依り圓陣を二重三重にして行へば一層面白し。

ネクシーポカル

一、適用　尋常一年以上男女

二、準備　一列の兩手間隔の圓陣を作り、兩手を腰にして圓心に向き先頭一人は圓心に位置す。

三、拍子　二拍子、又は四拍子

四、方法

第一節　三十八呼間

(一)で右足を前に出して踵のみを着け、(二)(三)(四)は其儘、(五)で左と交換し、(六)(七)(八)は其儘にす。

次の八呼間は前八呼間を繰返す。

次の二十二呼間圓陣の者は全部左足より始めて二十二歩足踏す。此間1は圓陣内を二十二歩歩き廻り最後に或る者の前に立つ。

第二節　三十八呼間

始め十六呼間は第一節始め十六呼間と同じ運動をする間に、第一節終りに於いて1に向き合つて立つた者は、圓陣内に入りて1の後ろに連り1の肩に兩手をかく。

次の二十二呼間は第一節終りの二十二呼間と同様の運動をなし、圓陣内を歩き廻る者は二人となる。

五、注意事項

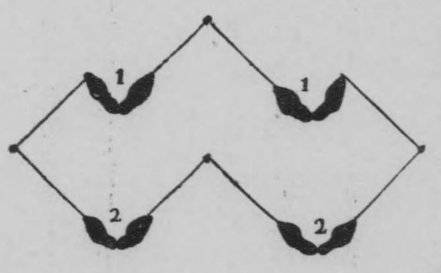
A、以上二節を何回となく繰返して行ふ間に、圓陣内の者の數を增し約半數まで内に入るまで繰返す。

B、一個の圓陣は三十人位がよい。

トモヱダンス

一、適用　尋常一年以上男女

二、準備　二列縱隊の圓陣を作り一、二の番號を附し、一、二の四人が一組となりて圖の如く手を繋ぐ。



三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　十六呼間

(一)で内側生は左足、外側生は右足よりガロップにて(三)まで進み、(四)で後ろの足を前に屈膝擧股の要領で擧げ、(五)より(七)まで擧げた足を前にしてガロップにて前進し、(八)の時後ろの足を前に擧げること前に同じ。

次の八呼間前に同じ。

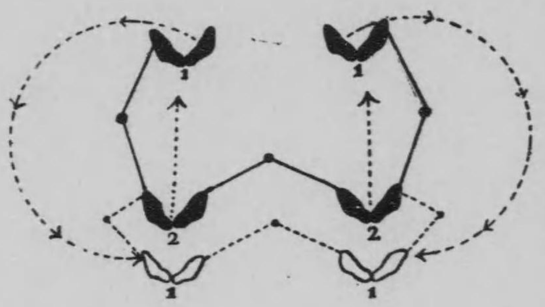
第二節　十六呼間

(一)より(八)までに前になつて居る二人の繋手を解きて各手を腰にとり、擧げて居る足から跳歩ホップにて前の人が後ろに廻り、後ろの人が前になつて前の如く手を繋ぎて進む。

次の八呼間は前八呼間に同じ。

五、注意事項

A、以上二節を繰り返して行ふ。



B、跳歩ホップとは、片足を床上に着けるや否や反対の足を屈膝擧股の要領で擧げ、同時に立つて居る足で前に跳ぶ歩法である。

C、準備運動としても整理運動としてもよい。

D、第二節の廻り方は次の様である。

トロイカ

一、適用　尋常二年以上男女

二、準備　三人一組各手を繋ぎて圓陣を作る。

三、拍子　四拍子

四、方法

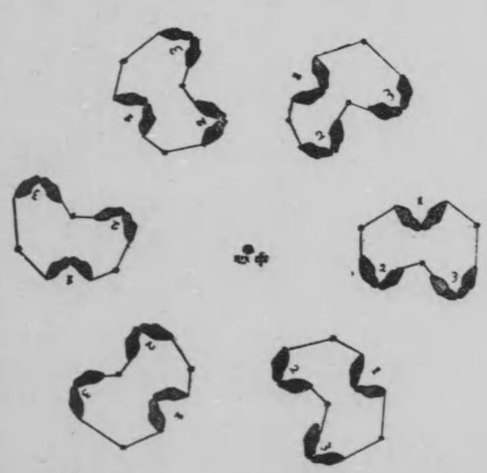
第一節　三十二呼間

(一)より(四)まで斜左前に左足より進む。

次の四呼間斜右前に右足より進む

次の八呼間前方に進む。

次の十六呼間は前十六呼間を繰返



す。

第二節　三十二呼間

(一)より(四)まで1は腰を屈げて足踏みし、23は繋ぎ手を1の頭上を通過して前に進む。

次の四呼間に12は足踏みし、3は12の繋ぎ手の下を潜る。

次の四呼間に13は足踏みし、2は13の繋ぎ手の下を潜りて左廻りす。

次の四呼間に23は足踏みし、1は23の下を潜りて左廻りをなす。

次の十六呼間は前十六呼間を繰返す。

第三節　三十二呼間

(一)より(十六)まで横ガロップには各組とも右廻りをなす。

次の十二呼間に横ガロップにて各組とも左廻りをなし、最初の方向に向く。

次の四呼間は23は足踏みし、1は前の組の23の繋ぎ手の下を潜つて、前の組

の1となる。

五、注意事項

A、以上三節を繰返して行ふ。

B、潜り方は困難の様ではあるが割合に易い。

C、運動の調子が速くなり易いから氣をつけねばならぬ。

D、繋ぎ手の間に褌を持ちて行ふ。

ピウテイフルダンス

一、適用　尋常二年以上男女

二、準備　一列横隊兩手間隔にて約一間を隔てゝ向合ひ、兩手を腰にとる。

人數の都合に依りては左圖の如く幾組作るも可なり。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　十六呼間

(一)より(三)までに1は左足より三歩前進し、(四)で相手と挨拶し(五)より(八)

までに右足より後退して舊位置に復す。

次の八呼間1は其儘立ち、2より以下全部同時に前八呼間と同樣の運動を行ふ。

第二節　三十二呼間

(一)より(八)までに1は中央まで前進して相手と右肘を組んで一廻轉し、繋手を解いて舊位置に復す。

次の八呼間は第一節後半に準じて前同樣の運動を行ふ。

次の八呼間は1が(一)より(八)までに中央に前進し、相手と左肘を組合せて左一廻轉をなし舊位置に復す。

次の八呼間は第一節後半に準じて前同樣の運動を行ふ。

第三節　三十二呼間

(一)より(八)までに1は中央に前進し、相手と兩手を握り合ひ右廻一廻轉して舊位置に復す。

次の八呼間は第一節後半に準じて前同樣の運動を行ふ。

次の八呼間は第三節前八呼間同樣左廻り一廻轉して舊位置に復す。

次の八呼間は第一節後半に準じて前同樣の運動を行ふ。

第四節　三十二呼間

(一)より(八)までに1は中央に向つて前進し、相手と右肩より背を合せ、左肩の順に擦り違ひ後退して舊位置に復す。

次の八呼間は第一節後半八呼間に準じて、前同樣の運動を行ふ。

次の八呼間は第四節前八呼間と同樣左肩より背合せ、右肩の順に擦れ違ひ後退して舊位置に復す。

次の八呼間は第一節後半八呼間に準じて前同樣の運動を行ふ。

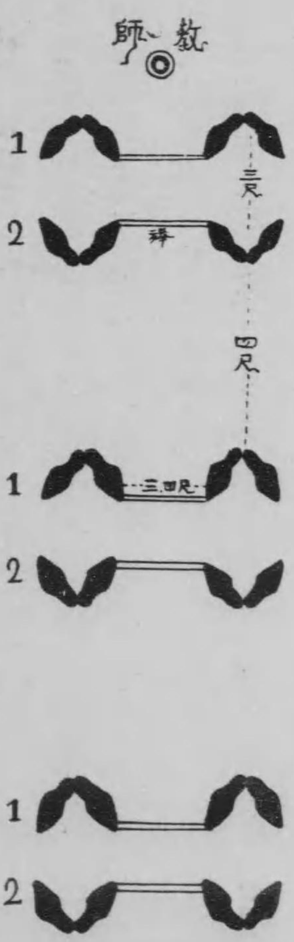
五、注意事項

整理運動として行ふのに可なり。

リボンダンス

一、**適用**　尋常二年以上男女

二、**準備**　二列縦隊を作り、一、二の番號を附して、一の二人は後ろ向きになりて二の人に向きあひ、一と一、二と二とは互に隣合ふ手に稗を持ちて頭上に擧げ、他の手は腰にとり、一と一との隔りは稗の長さにより異るも大體三、四尺位とす。稗の兩端は一尺位垂れる様に持つがよい。



三、**拍子**　四拍子

四、**方法**

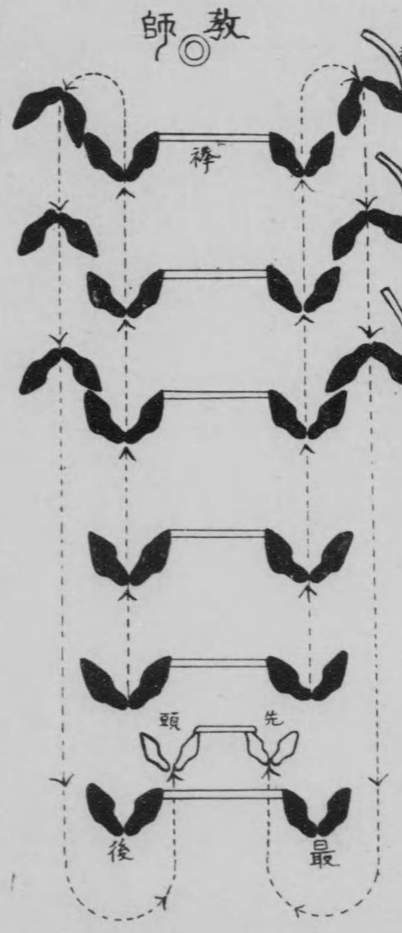
第一節　十六呼間

(一)より(三)まで三歩何れも隣合はざる足より始めて前進し、2が1の稗の下を潜り、(四)で(三)の時出したる足は其の儘兩足の爪尖にて後ろの足の方に廻り、(五)より(八)までに前四呼間同様に運動して、今度は1が2の稗の下を潜る。次の八呼間は前八呼間を繰り返す。

第二節　人數に依りて定らず

最後の二人は稗を第一節の始めの如く持ちて其儘其場に立ち、他の者は全部先頭の方に向つてスキツプホツプで二人づゝ並んで稗を持つた儘行進し、先頭は何れか一方が稗を持ち別れて各々列の外側をスキツプホツプにて最後の人の處に至り再び稗を持ち合ひ最後の人の稗の下を潜つて舊位置まで行進し、先頭以下の者は

全部先頭に續いて同樣の運動を行ひ、斯くして最後の者は全部の褌の下を潛りて新しき先頭となる。



五、注意事項

A、第二節を何回となく繰返す。

B、別れる時褌を持つ者は右側とか左側とか交互とか豫め決めておくがよい。

C、スキツプホツプとは(一)で片足を前に出し、(二)で後ろの足を屈膝擧股の要領で前に擧げると同時に立つてゐる足で小さく跳ぶのである。

ラフテイタフテイ

一、適用　尋常二年以上男女

二、準備　四人一組兩手間隔にて次の如き隊形を作る。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

(一)で斜右前に右足を出すや否や左足をそれに引き寄せ、(二)で更に右足を斜右前に出し、(三)(四)は斜左前に前同様に行ひ、(五)より(八)までに反對に後ろに

戻る。

次の八呼間は前八呼間の運動を繰り返す。

次の八呼間は、(一)で右足を右に出し直ちに左足尖を右足尖の床上に着け、(二)で右足で一歩足踏みなし、(三)(四)の二呼間は足を交換して前同様に行ひ、(五)より(八)まで右足より駈歩の要領四歩にて右廻りをなす。

次の八呼間は前八呼間と反對に行ひ左廻りをなす。

第二節　三十二呼間

一　より(四)までにBとD、AとCは手を繋ぎ、右足より前進してACはBDの繋ぎ手の下を潜り、四歩目に左足を出したるまゝ右廻りして向を替へ反對の手を繋ぐ。

次の四呼間はBDがACの繋ぎ手の下を潜りて前同様に行ふ。

次の四呼間は各別々に駈足足踏みにて右廻り一回をなす。

次の四呼間はAとB、CとDとは手を繋ぎ前進してCDはABの下を潜つて後向きとなる。

次の四呼間は反對に潜つて舊位置に復す。

次の四呼間に各駈歩足踏みにて右廻り一回轉をなす。

次の八呼間に(一)で最初の方向に向くと同時に前進し、相向へる者と出會ひ、互に右肩を接して右廻りして舊位置に復す。

第三節　十六呼間

(一)より(八)までにAとCは左肘BとDとは右肘を組み右足より始めて駈歩八歩にて右廻りをなす。

次の八呼間は第一節第三段八呼間の運動と同樣に行ひ最後は最初の形となつて各右手腹左手を背にして一回御辭儀をなす。

五、注意事項　跳躍の輕い運動である。

トウリジヨン

一、常尋二年以上女

二、準備　二列縱隊の圓陣を作り隣合へる手を繋ぎて肘を屈げ、他の手は腰にとる。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

(一)より(四)まで右足より出發して二呼間三歩の割で進む。

次の四呼間は駈足の要領で四歩進む。

次の二十四呼間は前八呼間を三回繰り返し、最後の一呼間は駈足することなく互に向ひ合ひ、右手腹、左手を背にして御辭儀をなす。

第二節　三十二呼間

(一)で互に右手を握つて高く擧げ、右足を一歩踏み出し、(二)迄に左、右と二歩

足踏みし、（三）（四）で左足より始めて後退して前同様に行ふ。

次の四呼間は前四呼間の運動を繰返す。

次の八呼間は（一）で右足を前に出すや否や左足を右足に引き寄せ、（二）で更に右足を前に出し、（三）で左足を前に出すや否や右足を引き寄せ、（四）で左足を更に一歩前に出す。以上四呼間を尚一回繰返して互に右廻り一回轉をなし舊位置に復す。

次の四呼間は（一）で左足を左に出し、（二）で體を右に傾けて右足を左足の前に振り擧げると同時に、左足にてホップをなす。（三）は右足にて立ち、（四）で體を左に傾けて左足を右足の前に振り擧げる。

次の四呼間は（一）で左足を左に出し體を其方向に向けて前倒し、右足を後擧し、（二）で立てる足にてホップし、（三）（四）は更に右足を前に出して同様に行ふ。

次の八呼間は左の者（最初の向きよりいへば内側生）と新に相手となり、右手を

繋ぎて第二節第二段八呼間と同様に行ひ、最後に最初の準備姿勢に復す。

五、注意事項

以上二節を幾回となく繰返し新しき相手と共に行ふ。

シユーメーカダンス

一、適用　尋常二年以上女

二、準備　二列縦隊の圓陣を作り前後の隔りを二尺位とし兩手を腰にとる。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　十六呼間

(一)で內側生は左足（外側生は右足）を前に出して踵のみを地に着け、(二)で左足（右足）を右足（左足）の側方中央の地に足尖を立て、(三)で左足（右足）を前に出すと同時に右足（左足）の後ろに引き寄せ、(四)で更に左足（右足）を前に出す。

次の四呼間は、(一)で右足（左足）を前に出して踵のみを地に着け、(二)で右足（左足）を左足（右足）の側方中央の地に足尖を立て、(三)で右足（左足）を前に出すと同時に左足（右足）の後ろに引き寄せ、(四)で更らに右足（左足）を前に出す。

次の八呼間は前八呼間の運動を繰り返す。

第二節　十六呼間

(一)で互に隣合へる方に向き合ひ、(二)までに胸前にて左の掌を右の拳にて三回打ち、(三)で左肘を後ろに引き、(四)で右肘を後ろに引きて兩手は駈足の時の様な風にする。

次の四呼間は(一)より(二)まで兩手を輕く握り胸前にて、左拳と右拳とを內側より外側に速く廻轉し、(三)は前四呼間の(三)、(四)は前四呼間の(四)に同じ。

次の八呼間は前八呼間の運動を繰返す。

第三節　十六呼間

(一)で最初の方向に向くと同時に內側生は左膝（外側生は右膝）を屈げて前に出

し、右足（左足）を後ろに擧げて體を前に傾け、左膝（右膝）の前にて拍手を一回なし、（二）で右膝（左膝）を屈げて前に出し、左足（右足）を後ろに擧げ體を前に傾けて、右膝（左膝）の前にて拍手一回をなし、（三）は（一）、（四）は手腰直立となる。

次の四呼間は（一）で内側生は左足屈膝擧股（右）、（二）で右足（左足）でホップし（三）で左足（右足）を踏み着け右足屈膝擧股（左）、（四）で左足（右足）でホップをなす。

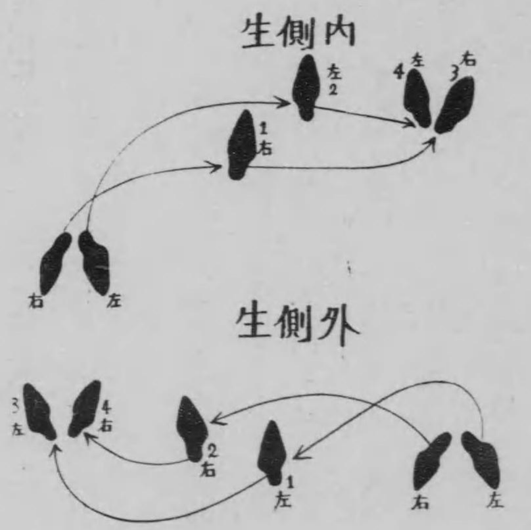
次の八呼間は前八呼間の運動を繰返す。

第四節　十六呼間

（一）で各擧れる足を立てる足の前より、内側生は左（外側生は右）に踏み出し、（二）で更に後ろの足を左に（右に）踏み出し、（三）で右足（左足）を左足（右足）の前より左（右）後ろに左廻り（右廻り）する様に出し、（四）で左足（右足）を

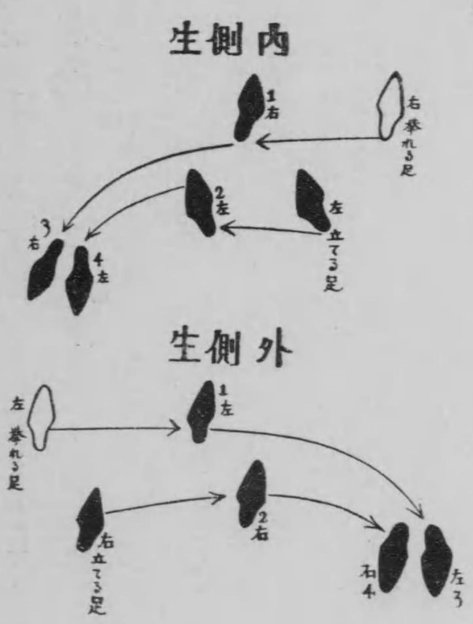
右足（左足）に揃へて、最初と反對の向きになる。手は（三）の時側擧し、（四）の時兩手を腰にとる。

次の四呼間は（一）で内側生は右足（左足）を右廻り（左廻り）しながら左足（右足）



上圖參照

の後ろより右（左）に運び、（二）で左足（右足）を右足（左足）の前より右（左）に運び、（三）で更に右足（左足）を右（左）に運び、（四）で左足（右足）を右足（左足）に揃へて最初の向きに復す。（三）で兩手を側擧し、（四）で兩手を腰にすること前に同じ。



上圖參照

次の四呼間は内側生は左足（右足）を前に出して膝を屈げ、體を前に倒し、右足（左足）を後ろに擧げ、左手（右手）を左斜上（右）に伸ばし、右手（左手）は右足の方向に伸ばし、（二）で其儘左足（右足）でホップ、（三）で右足（左足）にて立ち、左足（右足）の踵を右膝（左）の前に來る様に膝を屈げて擧げ、左手（右手）を下にし、右手（左手）を上にして胸前で交叉する如くし、（四）で右足（左足）にてホップす。

次の四呼間は前四呼間の運動を繰り返す。

五、注意事項

A、子供らしい運動であるが最初は可成やりにくい。

B、廻轉の動作は樂器に合ひにくいから前以て十分練習する必要がある。

C、本文中（　）内はすべて外側生のことである。

ダンスオブジヨイ

一、適用　尋常三年以上女

二、準備　一列縱隊の圓を作り、其內に約三分の一位にて外圓と反對向の圓を作り兩手を繋ぐ。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

(一)で右足を前に出すや否や左足を右足に引き寄せ、(二)で更に右足を前に出し、(三)で體は其儘兩手に笛を持ち、頭を下方に傾けて吹く形をなし、(四)は其儘休む。

次の四呼間は臂を前屈して左足よりスキツプホツプにて四歩進む。

次の二十四呼間は前八呼間を繰り返す。

第二節　十六呼間

(一)で左手側擧、右手を頭上半月形に擧げ、右足を一歩前に出し、左足を後ろに擧げ、(二)は其儘右足ホツプ、(三)(四)は反對の手足を用ひて前同樣の運動を行ふ。(五)は(一)、(六)より(八)まで(二)の如くホツプす。

次の八呼間は(一)で左手頭上半月形、右手前擧、左足を後ろに出し右足を前に擧

げ、(二)は其儘ホップ、(三)(四)は手足を換へて前同樣に行ひ、(五)で足は其儘の形でホップし兩手側擧、(六)(七)は兩手頭上に圓形を作り、足は前同樣、斯くして(八)までに左廻りをなし、(八)の時右手右足は前に伸ばし、左手は頭上半月形をなす。

第三節　四十八呼間

(一)で內圓生は外向き、外圓生は內向きとなると同時に右足を後ろに引き、兩手にて笛を持ち、反身になりてこれを吹く形をなし、(二)は其儘休み、(三)で體を前に屈げ、左手を耳にあて右手を後方に伸ばして(四)は休む。(五)より(七)まで三步右足よりスキップホップにて前進し、(八)で左廻りして元の位置の方向に向く。

次の八呼間は前八呼間の運動を繰返して元の位置に復す。

次の三十二呼間は前十六呼間の運動を二回繰り返す。

五、注意事項

A、手の運動と足の運動とを別々に練習すること。

B、前三節を繰り返し行ふ。

カーディナルダンス

一、適用　尋常三年以上男女

二、準備　體操隊形にして兩手を腰にとる。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

(一)で跳んで左足頸を十分に伸ばして左に出し、蹈趾尖を床上に着け、(二)で跳んで左足尖を右足の中間に接して床上に立つ。

以上二呼間を尚三回繰り返す。

次の八呼間右足を以て右に同様に行ふ。

次の八呼間左足を以て前方に同様に行ふ。此の場合足を前に出した時は小趾を床上に着く。

次の八呼間右足を前方に出して行ふ。

第二節　三十二呼間

(一)で兩足尖を以て跳んで左右に開き足尖にて立ち、(二)で兩足尖で踏み切つて左足を前に、右足を後ろに交叉して立ち、(三)は(一)、(四)は(三)の如く右足を前にして立つ。

以上四呼間を尚七回繰り返す。

第三節　三十二呼間

(一)で跳んで第一節(一)の如く左足を左に出し、(二)で右足ホップと同時に左足を屈げて左踵を右膝前に持ち來る。以上二呼間を尚三回繰り返す。

次の八呼間は右足を右に出して前同様の運動を行ふ。

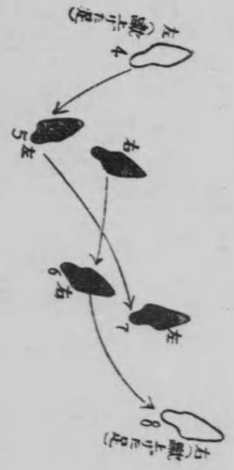
次の八呼間は左足を前に出して前同様の運動を行ふ。

次の八呼間は右足を前に出して前同様の運動を行ふ。

第四節　三十二呼間

（一）で跳んで體を半ば左に向けると同時に左足尖を右足の中央に接して床上に立て、（二）で跳んで左足を前方に蹴上げ、（三）は（一）の姿勢となり、（四）は（二）に同じ、（五）で左足を後ろに引き、（六）で體を右に向けると同時に右足を右に出し（七）で左足を右足の前より右に出し、（八）で右足を蹴上げる。

足の運び方



次の八呼間は右足より始めて前と反對の動作を繰り返して舊位置に復す。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰り返し、最後に兩足を揃へて立つ。

第五節　三十二呼間

（一）で左足を右足の前に交叉する如く伸ばし、（二）で右膝を屈げて左足の後ろに擧ぐ。以上二呼間を尚七回繰り返す。

次の十六呼間は前十六呼間に同じ。

第六節　三十二呼間

（一）で左足尖を右足の中央に接して床上に着け、（二）で左足を前に蹴上げ、（三）は（一）、（四）は（二）に同じ、（五）より（七）まで左足より三歩前進、（八）で右足を前に蹴上げ、（九）より（十二）までは右足より始めて（一）より（四）までに同様、（十三）より（十五）まで右足より始めて三歩後ろに退き、（十六）で左足を前方に蹴上ぐ。

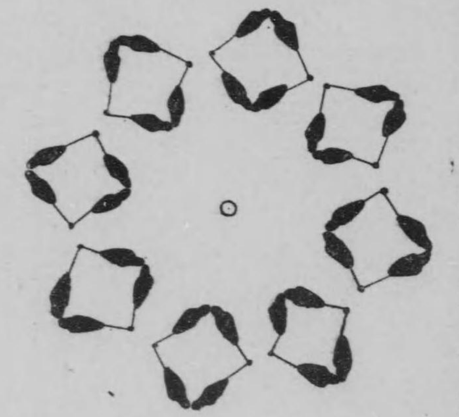
次の十六呼間は前十六呼間の運動に同じ。但し最後には兩足を揃へ兩手を下ろして立つ。

五、注意事項

A、各節とも跳躍を以て行ふ。
B、跳躍運動としても又競技の準備運動としてもよい。
C、ダンスの歩法の基本になるものが多いから十分練習すること。
D、各學年に區分して教ふるもよし。
E、足頸及び膝を十分に伸ばすこと。
F、上體の姿勢に注意すること。
G、寒い季節の運動として最もよい。

ブリッキング

一、適用　尋常三年以上男女
二、準備　二列の圓陣を作り互に相向ひ反對の手を肩の高さに繋ぐ。
三、拍子　四拍子
四、方法



第一節　三十二呼間

(一)で互に左手左足を前に出し、右手を引込め、(二)は其儘、(三)で左右の手足を交換して出し、(四)は其儘休む。(五)で左の手足を出し、(六)で右の手足と交換、(七)で再び手足を交換し、(八)で更に交換す。

次の八呼間は前八呼間の運動を繰り返す。

次の十六呼間は前十六呼間を繰り返す。

第二節　三十二呼間

(一)で外側生右向き、内側生左向きして隣合はざる足を一歩前に出すと同時に、外側生の右手、内側生の左手を放して腰にとり、(二)で隣合へる足を前に擧げ、隣合はざる足の膝を半ば屈げ、(三)で擧げたる足を前に踏み着け、(四)で後ろの足を前にあげると同時に立てる足の膝を半ば屈ぐ。

以上四呼間の運動を繰り返しつゝ前進す。

五、注意事項

以上二節を何回となく繰り返す。

ジヨイフルダンス

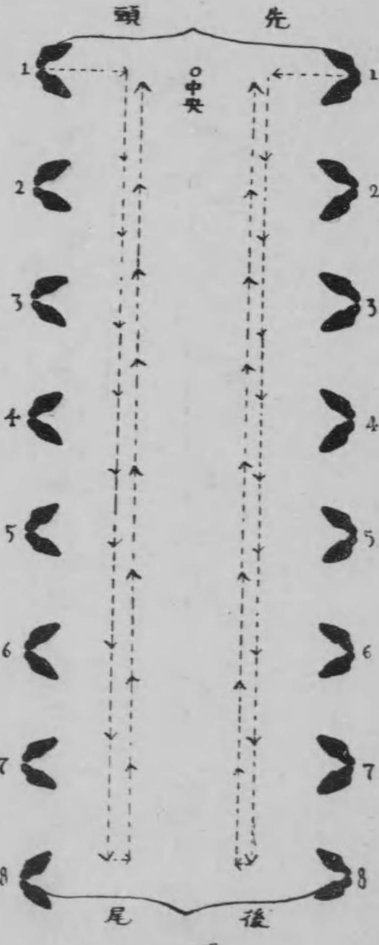
一、**適用**　尋常三年以上女

二、**準備**　一列兩手間隔の横隊を作りて次圖の如く向ひ合ひ、各兩手を腰にとり、兩列の隔りは一間位とす。人數の都合に依り幾組作るも可なり。

三、**拍子**　四拍子

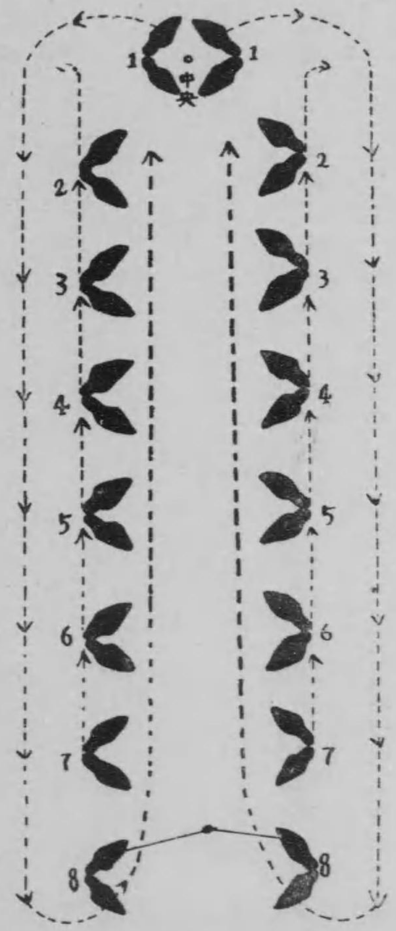
四、**方法**　呼數は人數に依りて定らず。

(A) 1は前進し中央にて相手と兩手を繋ぎ、列の中央を後尾の前まで横ガロツプにて進み、更に同方法にて最初出會ひし中央まで歸る。(卽ち次の如し)



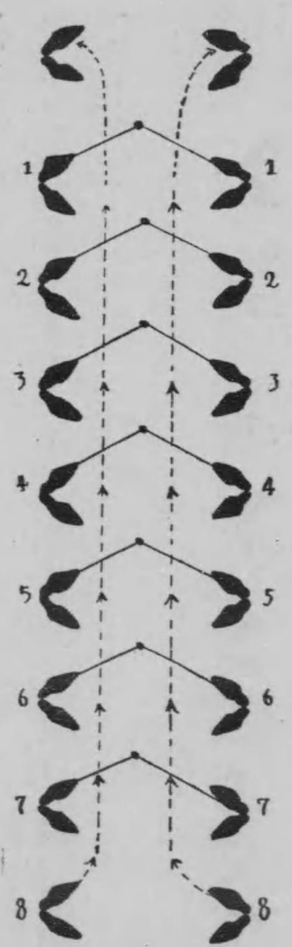
(B) 次に1は最初出合ひし中央に歸るや、互に右肘を組みスキツプホツプにて右廻り一廻轉し、直ちに右肘を解いて各相手の列の2の許に進み、2と左肘を組みスキツプホツプにて左廻り一廻轉し、其2との組手を解いて2は舊位置に、1は2の前にて右肘を組み合せスキツプホツプ右廻り一廻轉し、更に1は3の許に至り

て、2と同様に行ひ、斯くして次へ〳〵と後尾まで達した時、更に1は右肘を組みスキツプホツプ右廻り一廻轉して後兩手を繋ぎて横ガロツプにて列の中央を最初の中央まで歸る。



(C)(B)の終りに於て、1は(B)の初めの位置に歸り來たるや、直ちに右圖の如く1は左右に別れ、各自分の列の後ろを後尾の後ろまでスキツプホツプにて進み、

2以下順次自分の列の1の後ろに連りて1同樣スキツプホツプにて進む。此時後尾の者のみは向ひ合つた儘手を繋ぎ、1以下全部其下を潜りて準備の時の位置に復し、1は1、2は2と向ひ合つて手を繋ぎ、後尾は全部が自分の手の下を潜りたる後、全部の繋ぎ手の下を潜りて新しき1となる。



斯くして新しき1は最初の1と同樣な運動を行ひ、順次後尾は新しき1となりて幾回となく同じ運動を繰返す。

五、注意事項

A、ガロップとは一呼間に一歩横に足を出すと同時に、次の足を其の出した足の許に送り、更に最初の足を一歩横に出す歩法である。

此場合は足幅を小さくする方が容易である。

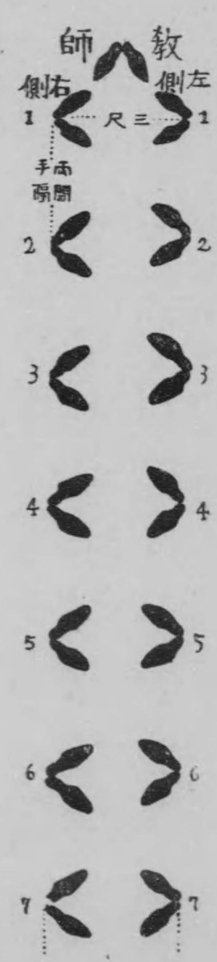
B、スキップホップとは一脚を屈膝擧股し、立てる足で小さく跳ぶ歩法である。

C、整理運動又は主運動として用ふ。

オックスダンス

一、適用　尋常三年以上男女

二、準備　一列横隊兩手間隔位とし次の如く兩手を腰にして向ひ合ふ。



三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　六十四呼間

(一)で左側生は擧踵半屈膝、右側生は上體を前に倒して互に顔を見合せ、(二)(三)は其儘休み、(四)で兩側生とも直立となる。(五)より(八)までに相手の行つた動

作を交代して行ふ。

次の八呼間は前八呼間を繰返す。

次の十六呼間は前の四呼間に行つた動作を二呼間で行ふ。

次の十六呼間は(一)で兩手を側擧すると同時に右へ一歩跳び、(二)で兩肘を前屈し、右足を屈膝擧股、(三)(四)の二呼間に三歩足踏みをなし、(五)より(六)までに(一)(二)の動作を左へ足を換へて行ひ、(七)(八)の二呼間に三歩足踏みをなす。

次の八呼間は前八呼間を繰返し最後に兩手を腰にとる。

第二節　四十八呼間

(一)より(四)まで互に右足を前に出して輕く跳び、(五)より(八)まで左足を前に出して輕く跳ぶ。

次に前八呼間を尙一回繰返す。

次の十六呼間は(一)は前に同樣の動作を作ひ、(二)で兩足を揃へて跳び、(三)で左足を前に、(四)は(二)に同樣の動作を行ふ。以上四呼間の動作を尙三回繰返す。

次の十六呼間は前十六呼間の動作に同じ。

第三節　四十八呼間

(一)で體を四十五度左に捻り兩足を開きて相手の右肘及び右足を相合はせ、(二)より(四)まで其儘休み、(五)で兩足で跳ねて體を九十度右に捻り、(一)と反對の形となし、(六)より(八)まで其儘休む。

次の八呼間は前八呼間の運動を繰返す。

次の十六呼間は前八呼間の運動を四呼間に行ひて繰返し、(十六)で互に向ひ合ふ。

次の十六呼間は前節最後の十六呼間の運動に同じ。

第四節　四十八呼間

(一)より(三)まで左側生は頭を下げ、右側生は右手にて左側生の頭を壓へ、(四)で元に復し、(五)より(八)までに前同樣の運動を交換して行ふ。

次の八呼間に尙一回繰返す。
次の十六呼間は、前八呼間の運動を四呼間に行ひて繰返す。
次の十六呼間は前節最後の十六呼間の運動に同じ。

第五節　四十八呼間

(一)で右足を前に出すと同時に輕く拳を握り、右臂を相手の右臂と組み合はす形をなし、左手は體の後ろに持ち來り、(二)より(四)まで其儘休み、(五)で姿勢は其儘にし、互に左手を組み合はし右手を後ろに持ち來り、(六)より(八)まで其儘休む。
次の八呼間は前八呼間の運動を繰返す。
次の十六呼間は前八呼間の運動を四呼間に行ひて繰返す。
次の十六呼間は前節最後の十六呼間の運動を行ふ。

第六節　四十八呼間

(一)で左側生が下方にて兩手を拍つと同時に、右側生は相手の頰を右手にて打つ眞似をなし、(二)より(四)まで其儘休み、(五)より(八)まで互に相手の爲したる運動をなす。
次の八呼間は前八呼間の運動を相手と交換して行ふ。
次の十六呼間は前の八呼間の運動を四呼間に行ひて繰返す。
次の十六呼間は前節最後の十六呼間の運動を行ひ最後に握手をなす。

五、注意事項

A、第三節前三十二呼間の運動に於て跳ぶ時、偶數は輕く奇數は強く跳ぶこと。
B、非教育的な部分が無いでもないが説明の仕方で一向差支は無い。
C、最後の握手は日本式の禮に改めてもよい。
D、主運動としてよい。

ミツクスダンス

一、適用　尋常三年以上男女

二、準備　體操隊形とし兩手を腰にとる。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　四十八呼間

(一)で跳んで左足尖を右足の中央に接して床上に立て、(二)で跳んで左足を左に出して蹈趾を床上に着け、(三)は(一)、(四)は(二)に同じ。(五)より(八)まで前同樣に右足にて行ふ。

次の八呼間は前八呼間の(一)(二)の要領で左右交互に行ふ。

次の八呼間は(一)で跳んで左足を右足の中央に接して床上に趾尖を立て、(二)で左足を前に蹴上げ、(三)は(一)、(四)は(二)に同じ。次の(五)より(八)までは右足にて

同樣に行ふ。

次の八呼間は前の八呼間の(一)(二)の要領で左右交互に行ふ。

次の八呼間は(一)で前の(一)に同じく左足を立て、(二)で後ろに出し、(三)は(一)(四)は(二)に同じ。(五)より(八)まで同樣の運動を右足にて行ふ。

次の八呼間は前(一)(二)の要領で左右交互に行ふ。

第二節　三十二呼間

(一)で左足を右足の前より右に出し、(二)で左足を舊位置に復し、(三)は(一)、(四)は(二)に同じ。(五)より(八)まで同樣に右足にて行ふ。

次の八呼間は前八呼間を繰返す。

次の十六呼間は(一)(二)の要領で左右交互に行ふ。

第三節　三十二呼間

(一)で兩手で圓形を作つて前に擧げ、(二)で右手を頭上半月形に左手を肩の高さ

に左に伸ばし、(三)は(一)、(四)はその儘體前に兩手を下ろし、(五)より(八)まで尚一回繰返す。

次の八呼間は左手を頭上半月形に、右手を肩の高さに右に伸して前同様に行ふ。

次の十六呼間は(一)で右手を頭上半月形に、左手を左に伸ばし、(二)は兩手で體前下方に圓形を作り、(三)は(一)の反對に行ひ、(四)は(二)を行ふ。以上四呼間を尚七回繰返す。

第四節　十六呼間

(一)で左足を左に出して蹈趾を床上に着け、兩手は第三節(二)に同じ。(二)で左足を右足の前より右に出して趾尖を床上に着け兩手は體前に圓形を作り、(三)は(一)、(四)は(二)に同じ。(五)より(八)まで前四呼間と反對に行ふ。

次の八呼間は前八呼間を繰返す。

五、注意事項　極めて柔く行ひ得る樣に練習すること。

ウアジニヤリール

一、適用　尋常三年以上女

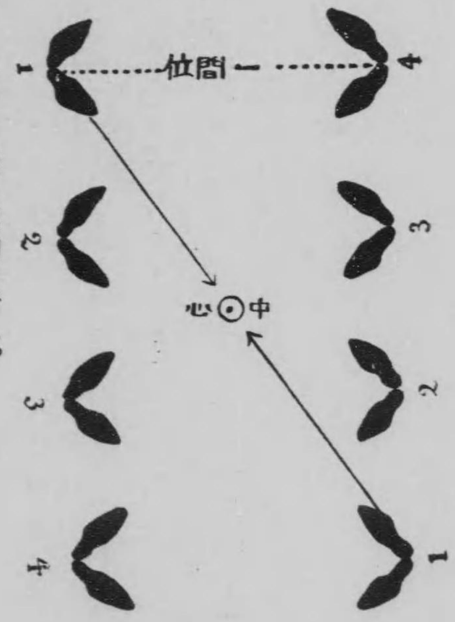
二、準備　八人一組とし四人一列横隊となり一間位隔て、互に相向ふ。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　十六呼間

(一)より(三)までに1は中心に向つて三歩前進し、(四)で御辭儀し、(五)より(八)までに後退して舊位置に復す。運動せざる者は絶えず拍手して拍子をとる。



次の八呼間に4が前同様の運動を行ふ。

第二節　十六呼間

(一)より(三)まで前節同様中心に向つて進み、(四)で互に右手を握り、(五)より(八)までに右廻り一廻轉し、繋手を解いて舊位置に復す。

次の八呼間に4が前同様の運動を行ふ。

第三節　十六呼間

第二節と同様の方法に依り左手握手左廻りにて舊位置に復す。

第四節　十六呼間

(一)より(三)まで三歩1が中心に向つて進み、(四)(五)で互に左方より右方に脊合せに擦り違ひ、(六)より(八)までに後進して舊位置に復す。

次の八呼間に4が前同様の運動を行ふ。

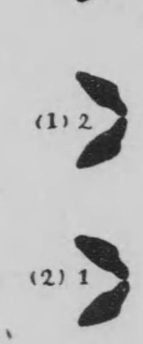
第五節　十六呼間

前節同様の方法に依り右方より左方に背合せに擦り違へて行ふ。

第六節　十六呼間

(一)より(八)までに同列の1と2、3と4と互に向ひ合ひ、右肘を組んで右方に一廻轉す。

次の(一)より(八)までに兩肘を解き、互に左方に向ひ合ひ、左肘を組合せ左に一廻轉する間に、相手の位置と入り換る。卽ち次の如し。



五、**注意事項**　A、(2)は第一節の1と同樣の運動を行ひ斯くして連續的に行ふ。

B、拍手する生徒は比較的閑散なるにより亂雜になり易きを以て豫め注意する事

C、整理運動として行ふによし。

ゼエスオブダイヤモンド

一、**適用**　尋常四年以上女

二、**準備**　二列の兩手間隔位の圓陣を作り、內側生と外側生とは互に向ひ合ひ兩手を腰にとる。

三、**拍子**　四拍子

四、**方法**

第一節　十六呼間

(一)で各自拍手一回、(二)で互に相手の右肘と組合せ、(三)で左足より始めて踏み出し、(八)までに相手と共に一廻轉して舊位置に復す。

次に新しく各自の拍手より始め、八呼間に前八呼間と反對に同樣の運動を行ふ。

第二節　十六呼間

(一)で外側生は右肘を外側にして兩肘を胸前に組むと同時に、右足を一步前に踏

み出し、左足を屈げて右足の後ろに擧げ、(二)で右足ホップをなし、(三)で左足を一歩前に踏み着け、右足を屈げて左足の後ろに擧げ、(四)で左足ホップをなす。

次の四呼間は前の四呼間と同様の運動に依りて圓陣の中心に進む。

内側生は(一)で外側生と同様に兩肘を組み合せ、左足を一歩後ろに踏み着けると同時に、右足を屈げて左足の前に擧げ、(二)で左足ホップをなし、(三)で右足を一歩後ろに踏み着け、左足を屈げて右足の前に擧げ、右足ホップをなす。

次の四呼間は前の四呼間と同様の運動に依りて圓陣の中心に退く。

次の八呼間は内外生各々運動を交替して舊位置に復す。

第三節　十六呼間

(一)で外側生の右手と内側生の左手を繋ぎ、外側生は左向きして右足を、内側生は右向きして左足を出すと同時に、繋ぎた手を前の方に高く擧げて眼を之に注ぎ、(二)は其儘休み、(三)で外側生は右向きして右足を小さく右に出して趾尖を床上に着け、内側生は左向きして左足を小さく左に出して趾尖を床上に着けると同時に繋ぎた手を、出した足の方向に高く振り擧げて互に顔を見合せ、(四)は其儘休む。(五)で(一)の如くすると同時に繋げる手を解きて、外側生は左廻りに、内側生は右廻りに(八)までに一廻轉して稍々先頭の方に進む。

次の八呼間は前八呼間の運動を繰返す。

五、注意事項

A、第一節より第三節までを二三回繰返すこと。

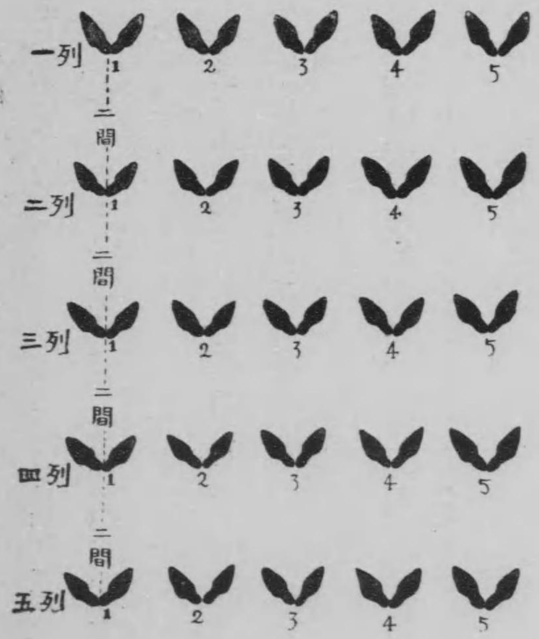
B、第三節は手の運動を大きく足の運動を小さくすること。

C、第三節の廻轉は十分練習すること。

リープゼフラックス

一、適用　尋常四年以上男女

二、準備　五列縦隊とし列間を二間位にとり、各列とも左より番號を附し兩手を腰



にとる。卽ち前圖の如し。

三、拍子　三拍子

四、方法

第一節　四十八呼間

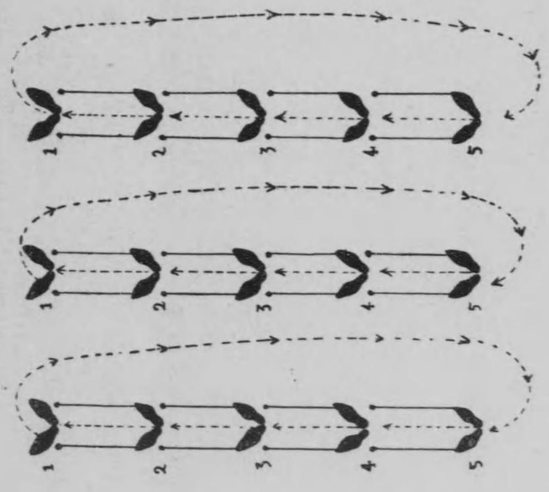
（一）より（三）まで體を前に屈し、兩手を左足許に伸ばして物を取り上げる樣をなし、（四）より（六）まで體を起し、兩肘を屈げ腹前に物を持つ樣をなし、（七）より（九）まで右肩の上を通して後ろに物を兩手で送る樣をなし、（十）より（十二）まで兩手を腰にとる。

次の十二呼間は前の十二呼間を繰返す。

次の二十四呼間は（一）で各列とも左向きを爲して一列縦隊となり、一番生のみ兩手を腰に、二番生より五番生までは順次前の人の肩に手を掛け、（二）より（二十二）までに輕き駈歩を以て右廻りに圓を畫いて舊位置に復し、（二十三）で足を揃へ、

（二十四）は其儘休む。

第二節　四十八呼間



（一）より（六）までは第一節に同じ、（七）より（九）まで兩手を前に伸ばし、（十）より上圖の如く廻る

（十二）までに兩手を後ろに引く。

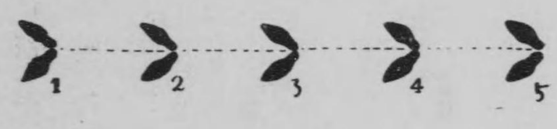
次の十二呼間は前の十二呼間を繰返す。

次の二十四呼間は第一節後半二十四呼間に同樣の運動をなす。

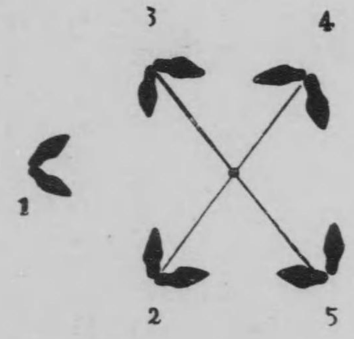
第三節　四十八呼間

前節が終はると直ちに2は3の前に出で4の手を取り、5は4の前に出で2の手を取りて互に高く擧げ、1は兩手を腰に取つて四人の方に向く。卽ち次圖の樣である。

前節の終り隊形



（一）より（十二）までに2より5までの四人は右廻り一廻轉し、（十三）より（二十四）までに手を換へて前と反對に一廻轉す。1は三呼間一回の割で、都合八回右足を



第三節始めの隊形

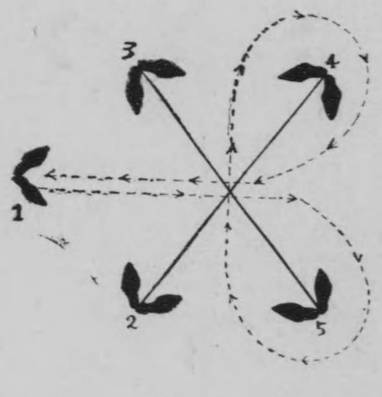
擧げて地を踏む。

次の二十四呼間は第二節後半二十四呼間に同樣隊形に復して同樣の運動をなす。

第四節　四十八呼間

前節の最後には前節始めの隊形をなす。

（一）より（二十四）までに1は2と4、3と5の繋手の下を次圖の如く潜り抜けて舊位置に復す。



次の二十四呼間は第三節二十四呼間と同様の運動をなす。

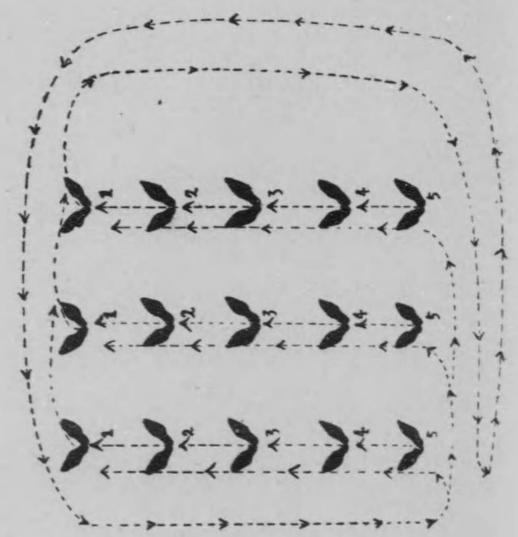
第五節　四十八呼間

(一)より(二十四)までに三列づゝ(十五人)で、一つの圓を作る様に前節後半二十四呼間の如き運動をなしつゝ進む。此の場合一列及び四列の、1のみ兩手を腰にし他は全部前の人の肩に手を掛く。

次の二十四呼間に反對の方向に廻りて各列とも順次舊位置に復し、全部終るまで自分の位置に駈歩をなす。卽ち次の如く運動す。

五、注意事項

A、第一、二節の前半は三呼間に一運動をなす。



B、第五節の圓を作るときは三列(十五人)が一圓を作る様にすることが便利である。

本節は人員の都合に依つて呼數は四十八呼間とは限られない。

C、輕い跳躍的駈歩に依りて行ふ。

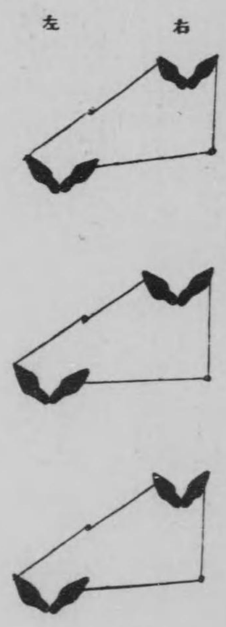
D、主運動として行ふ。殊に寒い時に適す。

E、列の先頭には成る可く優等な生徒を置くことが便利である。

ポルカカケツツカ

一、**適用**　**尋常四年以上女**

二、**準備**　二列縦隊又は二列圓陣を作り、右の者の左手を左の人の前に出し左の者の左手と繋ぎ、左の者の右の手を右の者の右肩に擧げ右の者の右手と繋ぐ。



三、**拍子**　二拍子又は四拍子

四、**方法**

第一節　十六呼間

(一)で上體を左斜前に傾け左足を左斜前に出し爪尖を床上に着けて之に注目し、(二)で左足を右足の後ろに膝を屈げて擧げ、(三)(四)の二呼間に左足より三歩足踏みして右に向く。(五)で右足を右斜前に出して爪尖を床上に着けて之に注目し、(六)で右膝を屈げて左足の後ろに擧げ、(七)(八)の二呼間に右足より三歩足踏みして左に向く。

次の八呼間前八呼間に同じ。

第二節　十六呼間

(一)で左足を左斜前に出し、(二)までに右足左足と足踏みをなし、(三)(四)の二呼間右斜前に右足より始めて前同樣の運動を行ふ。

以上四呼間の運動を尙三回繰返す。

五、注意事項

以上二節を繰返して行ふ。

アスレチツクダンス

一、適用　尋常四年以上男女

二、準備　體操隊形にて間隔距離を稍々廣くす。

三、拍子　二拍子

四、方法

ランニングダンス

(一)で右足を後ろに引きて右膝を左足内側の地に着け、兩手は肩幅より稍々廣く左足爪尖と同一線上の地に着け、スタートのオンユアーマークをなし、(二)は其儘休み、(三)で右膝を地より離し、臀部を上げて直前を見る。卽ちゲツトセツトをなし、(四)は其儘休み、(五)(六)の二呼間に右足より三歩前に走り進みて兩手を高く擧げ、左足を後ろに擧ぐ。卽ちテープを切つてゴールに入る形をなし、(七)で左に向き不動の姿勢となる。

以上八呼間を四回續けて次の如く元位置に復す。

砲丸投ダンス

(一)で左足を一歩後ろに引きて膝を稍々屈げ、體を右に向けて上體を斜右に傾け顔を左に向け、左手は斜左上方に伸ばし、右手にて砲丸を摑む様をなし肘を前に屈げて砲丸が右耳の邊にある様にし、(二)は其儘休み、(三)で其儘右足にて踏み切つて左へ跳び、(四)は其儘休み、(五)で體を左に半廻轉して右足を前に踏み着け、右手を稍々前上方に伸ばして砲丸を突出した形をとると同時に左足及び左手

を後ろに伸ばし、(七)で左に向き不動の姿勢となり(八)は休む。

前八呼間を四回繰返して行ふ。

立幅跳ダンス

(一)で爪尖立ち兩手を高く振り擧げ、(二)は其儘休み、(三)で膝を半ば屈げ兩手を前より後ろに振つて跳ぶ姿勢を爲し、(四)は其儘休み、(五)で兩手を前より上に振り擧げ兩足を揃へて前に跳び、地に着きたる時は(一)の姿勢となり、(六)は其儘休み、(七)で左に向きて不動の姿勢となり、(八)は其儘休む。

以上八呼間の運動を四回繰返して元位置に復す。

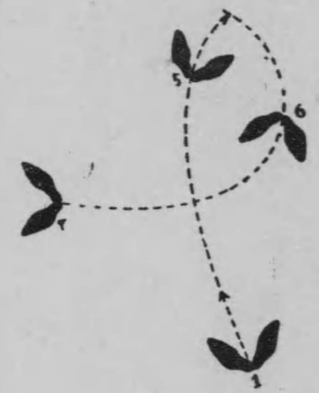
槍投ダンス

(一)で右足を後ろに引きて稍々膝を屈げ、體を右に向けて稍右に傾け、左手は斜

左上方に伸ばし、右手は槍を握りたる形をなしその拳が右耳の高さに來る樣肘を曲げ、(二)は其儘休み、(三)(四)の二呼間に左足より三歩姿勢は(一)の儘前に駈け、(五)で體を強く左に向け右足を前に踏み出すと同時に槍を投げた形をなす。此時左足左手は後ろに伸ばし(六)は其儘休み、(七)で不動の姿勢となり(八)は休む。以上八呼間の運動を四回繰返して元位置に復す。

走高跳ダンス

(一)で左膝を稍々高く屈げて一歩前に進み、(二)で右足を左足同樣に前に進め、(三)(四)の二呼間に左足より三歩前に駈け出し、(五)で右足より擧げてバーを跳越したる形にて體を右廻りに捻り、(六)で地に着きたる時體は右廻り半廻轉して立ち、(七)で右に向きて不動の姿勢となり、(八)は休む。



以上八呼間の運動を四回繰返して元位置に復す。

圓盤投ダンス

(一)で左足を前に出し右手にて圓盤を握りたる形をなし、左手は右手に伴つて左肩上に振り擧げ、(二)で兩膝を半ば屈げ右手を下より後ろに振つて圓盤を投げる用意をなし、(三)(四)の二呼間に左足より前に出して進みながら三歩にて體を一

廻轉し、(五)で右足を強く前に出し右手を右下方より斜上方に振り伸ばして圓盤を投げる形をなし、(六)は其儘休み、(七)で左に向きて不動の姿勢となり(八)は休む。

以上八呼間の運動を四回繰返して元位置に復す。

リレーレースダンス

(一)で各列の最後の者はオンユアーマークをなし、(ランニングダンス參照)他の者は全部左足を前に出し右手を後ろに伸ばしてリレー環(バトン)を受取る用意をなし、(二)は其儘休み。(三)で最後の者のみゲツトセツトをなし、(ランニングダンス參照)(四)は其儘休み、(五)で最後の者はスタートしてバトンを次の者に渡し、受取りたる者は直ちに駈けて又次の者にバトンを渡す。斯くして最後の者まで連續して行ふ。

五、注意事項

A、競技の準備として行ふによし。

B、全部を連續して行ふも、部分に分けて行ふもよし。

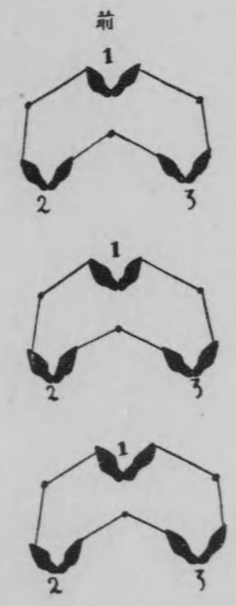
C、跳躍運動としてよし。

D、競技の後に整理運動として行ふもよし。

マウンテンマーチ

一、**適用**　尋常四年以上男女

二、**準備**　次の様に三人一組となつて圓陣を作り三人共手を繋ぐ。手と手との間に襷を持たしむるもよし。



三、**拍子**　三拍子

四、**方法**

第一節　三十六呼間

(一)で上體を少し左斜前に傾けると同時に左足を左斜前に一歩擦り出し上體を起

し、(二)で右足を左足に引きつけ、(三)で左足を少し擧げて左斜前に踏み着け、(四)より(六)まで右斜前に右足を用ひて前同様の動作を行ふ。以上六呼間を尚五回繰返す。

第二節　四十八呼間

(一)より(六)まで六呼間に1は2と3の中間を後退す。此時2 3は繋手を高く擧げて1の潜るに便利にす。

次の六呼間に2が1 3の繋手の下を1と同様の方法によりて潜る。

次の六呼間に3は同様1 2の間を潜る。

次の六呼間に1は2 3の間を潜つて舊位置に復す。

次の二十四呼間は前二十四呼間を繰返す。

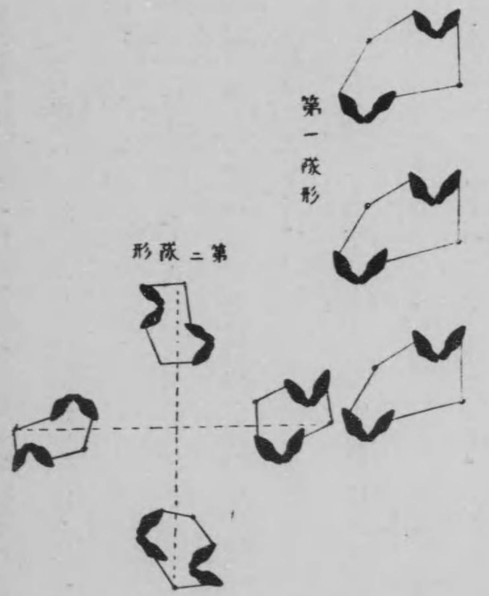
五、**注意事項**　A、以上二節を何回となく繰返して圓陣を左廻りす。

B、第二節の潜る運動をなす時は潜らざるものは足踏みして拍子をとる。

ディアフレンド

一、適用　尋常五年以上女

二、準備　二列圓陣又は二列縱隊、或は次の樣な十字形を幾つも作つて行ふもよい。



二人は前の者の左肩の所に後ろの者の右肩が重る樣にして、右手と右手、左手と左手とを繋ぐ。

三、拍子　二拍子

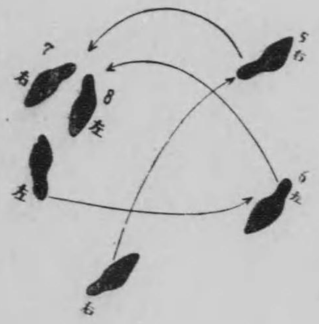
四、方法

第一節　十六呼間

(一)で斜左前に各左足を出して踵のみ地に着け左の繋ぎ手をその方向に伸ばし、體を其方向に傾け右の繋手は屈臂して肩の高さに擧げ、(二)で其儘左足を右足の後ろに擧げ、(三)で左足を左斜前に踏み着け、右足を左足の後ろに運び、(四)で左足を更に斜左前に出し、(五)より(八)まで右の方に右手右足を用ひて前同樣の要領に行ふ。

次の四呼間は(一)より(四)までと同樣、(五)より(八)までに前の者のみ一廻轉して二人は斜に向き合ふ。(次圖參照)　勿論繋ぎ手は(五)の時に解く。

第二節　十六呼間



（一）で各右足を斜右前に踏み出し、左足を後ろに擧げ體を右足の方向に倒し、兩手は胸前より各足の方向に伸ばし、（二）は其儘休み、（三）で左足にて立ち右足踵が左膝の前に來る樣に足を擧げ、兩手は胸前に左手下に交叉する如く屈げて體を起し、（四）は其儘休む。（五）より（八）までに前四呼間の運動を今一度繰返す。次の八呼間は（一）で互に右肘を肩の高さに組み、左手は各頭上に半月形に擧げ右

足を前に出し、（二）で左足を屈膝擧股し、（三）で左足を踏み着け右足屈膝擧股、（四）は（二）、（五）は（三）、（六）は（四）と同樣、（七）（八）の二呼間に繋手を解いて第一節終りに一廻轉したる者が、一廻轉し、他の者は足踏みして準備の姿勢に復す。

五、注意事項

A、相等練習が出來たら前後の者と交換して行ふがよい。

B、大變奇麗で面白い運動である。

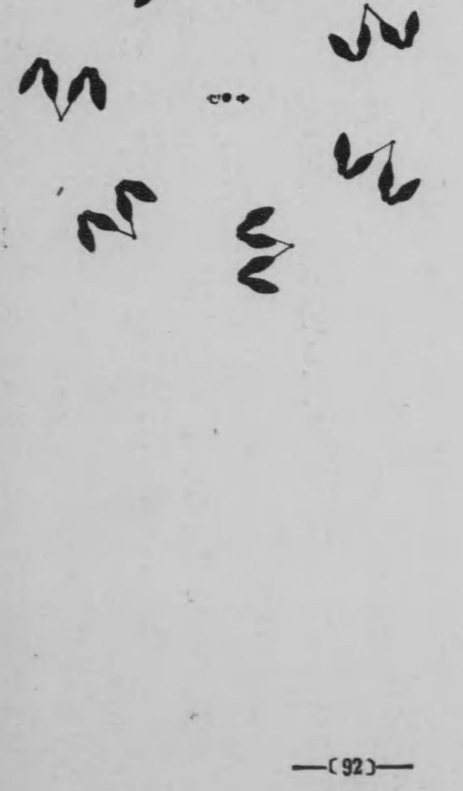
C、前二節を何回となく繰返して行ふのである。

D、整理運動としてよい運動である。

バーンダンス

一、適用　尋常五年以上女

二、準備　二列縦隊の圓陣を作り、相並ぶ二人は隣れる手の肘を屈げて肩の高さに繋ぎ他の手は腰にとる。



三、拍子　四拍手

四、方法

第一節　十六呼間

(一)より(二)まで隣合はざる足より前進し、(四)で隣合へる足を屈膝舉股の要領にて前に擧げると同時に、立てる足にてホップし、(五)より(七)まで擧れる足より三歩前進、(八)で後ろの足を屈膝舉股の要領で擧げ、他の足にてホップすると同時に繋ぎ合へる手の方に、互に一廻轉して後ろ向きとなり、反對の手を繋げ、(九)より(十一)まで擧れる足より三歩前進、(十二)で後ろの足を(四)の様に擧げ他の足にてホップし、(十三)より(十五)まで擧れる足より三歩前進、(十六)で後ろの足を屈膝舉股の要領にて擧げ、他の足にてホップすると同時に繋ぎ合はざる手の方に、互に一廻轉して手は準備の姿勢となる。

第二節　十六呼間

(一)より(七)まで第一節に同様、(八)の時廻轉することなく第一節(四)の如く後ろの足を擧げホップし、(九)で隣合ざる足を側方に半歩出し、(十)で出した足でホップすると同時に隣合へる足の踵を、互に立てる足の膝の前に振り擧げて、體を隣合へる方に傾け、(十)(十一)は(九)(十)の反對に、(十三)より(十六)までは、(九)より(十二)までに同様に行ふ。

第三節　十六呼　間

(一)より(八)までは第二節(一)より(八)までに同様、(九)で互に向ひ合つて兩手を側擧して繋ぎ合はすと同時に、(十一)まで横にガロップをなし、(十一)で第一節(四)の如く、(十三)で互に背を合はすが如くして繋ぎ手を高く擧げ、他の手は後ろ下方に伸ばして、(十五)までガロップ、(十六)で隣合はざる足を屈膝擧股の要領にて前に擧げると同時に最初の方向二向ふ。

第四節　十六呼　間

(一)より(八)までは前節同様、(九)で互に向き合ひ、外側の者は(十六)まで、第二節(九)より(十六)までと同様の運動を行ひ、內側の者は外側の者と同様の運動を行ひ、出來得るだけ體を捻り、繋ぎ手はホップする時高く頭上に擧ぐ。

第五節　十六呼　間

(一)より(八)までは前節(一)より(八)までに同様、(九)で互に向き合ひ、兩手を繋ぎて側擧し、隣合はざる足にて立ち、他の足を斜前方に伸ばして擧げ、(十)で其儘ホップ、(十一)で擧げた足を斜前方床上に着けて、他の足を擧げ、(十二)で其儘ホップ、(十三)より(十六)までは、(九)より(十二)までと同様の運動を行ひながら(九)より(十六)までに一回轉をなす。

第六節　十六呼　間

(一)より(八)までは前節(一)より(八)までに同様(九)で隣合ざる足を斜前方に出し、隣合へる足を後ろに伸ばし、隣合はざる手を斜上方に繋ぎ手を解いて伸ばし、

隣合はざる手は後ろ足の方向に伸ばして體を前に傾け、(十)で其儘ホツプ、(十一)で後ろ足にて立ち、前の足の踵を立てる足の膝の前に持ち來り、體を屈して胸前に左手を下にして兩手を交叉し、(十二)は其儘ホツプし、(十三)より(十六)までは、(九)より(十二)までと同樣の運動を行ふ。

五、注意事項

A、全六節を二回位繰返して行ふ。

B、片足で立つた時は常にホツプをなす。

C、第六節後半の時は斜上方に伸ばした手に眼を注ぐ。

D、跳躍運動として良いダンスである。

ハンガリヤンザーダスダンス

一、適用　尋常五年以上女

二、準備　體操隊形とし兩腕を胸前に組む。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

(一)で跳んで左足を前に出し十分足頸を伸ばして小趾のみを床上に着け、體を稍々右に捻り、(二)で跳んで前に左足小趾の在りたる場所に左踵を着け、(三)で左足を引き右足を(一)の如く出し、(四)は(二)の如く、(五)より(十二)まで同じ運動を繰返す。(十三)で右足を出したる儘兩足で跳んで右足小趾を着け、(十四)(十五)各一回左右の足を交換して前の如く出し、(十六)は休む。

次の十六呼間は右足を前に出して小趾を着ける運動より始めて、前十六呼間と同

様の運動を行ひ、最後に左足を前に出して終る。

第二節　三十二呼間

(一)で左手腰右手側擧右足にて左に跳び、(二 で體の重みを左足に托し右足を左足の後ろより左に移し、(三)は(一)、(四)は(二)に同じ。(五)で兩腕を胸前に組み右足を前に出し、(六)(七)は各一回左右の足を交換して前に出し、(八)は休む。(九)で(一)と反對に左手側擧右手腰左足にて右に跳び、(十)で左足を右足後ろより右に移し、(十一)(十二)は(九)(十)に同じ。(十三)で兩腕を胸前に組み左足を前に出し、(十四)(十五)は各一回左右の足を交換して前に出し、(十六)は休む。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰返す。

第三節　三十二呼間

(一)(二)の二呼間兩腕を胸前に組みたるまゝ左足より始め三歩足踏みして左廻りを始め、(三)(四)にて右足より三歩足踏みして元の向きに復し、(五)で跳んで右

足を前に出し、(六)(七)は各一回左右の足を交換して出し、(八)は休む。(九)(十)の二呼間右足より足踏みを始め三歩にて右廻りをなし、(十一)(十二)で又左足より始めて元の向きに復し、(十三)で踏んで左足を前に出し、(十四)(十五)は各一回左右の足を交換して出し、(十六)は休む。

次の十六呼間は前十六呼間同様の運動を繰返す。

第四節　三十二呼間

(一)で踏んで左足を左に擧げ、左手腰右手側擧、(二)は其儘、(三)で左足を一歩左に踏み着け、(四)は右足を左足の後ろより左に移し、(五)より(八)までは(一)より(四)までに同じ。(九)より(十六)までは第一節(九)より(十六)までと同様の運動を行ふ。

次の十六呼間は前十六呼間と反對の動作にて舊位置に復すべく右に進む。

第五節　三十二呼間

第三節三十二呼間に同じ。

第六節　三十二呼間

(一)で兩手を側擧し右足にて左に跳び左足を床上に着け、(二)で膝を半ば屈げ兩手を膝の前にて伸ばしたる儘交叉し、(三)で大の字に立ち、(四)で兩足を揃へ兩手を胸前に組み、(五)で跳んで右足を前に出し、(六)(七)は各一回左右の足を交換して前に出し、(八)は休む。(九)で(一)と反對に左足にて右に跳び、(十)より(十六)までは、(二)より(八)までの反對の動作にて舊位置に復す。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰返す。

五、注意事項

A、第一節は後方の足に總て體の重みを托す。

B、跳躍運動としてよい。

ベンゲルカンマーチ

一、適用　尋常五年以上男女

二、準備　二列縱隊又は二人並びの圓陣を作り、體前にて右手と右手、左手と左手とを組み合す。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

(一)より(四)まで互に隣合はざる足より初めて四歩前進、(五)で隣合はざる足を前に出してホップ、(六)で其足を側方に轉じてホップ、(七)で兩足を揃へてホップ、(八)は休む。

次の八呼間は(一)より(四)までに互に出發したる足より內側(左側)生を中心軸にして一廻轉をなし、(五)より(八)までは前の(五)より(八)までに同じ。

次の十六呼間は前十六呼間と同様の運動をなす。但し廻轉する時は外側(右側)生を中心軸となす。

第二節　三十二呼間

(一)より(四)まで體を少しく前方に傾け隣合はざる足より初めて二回宛ホップして進みながら體を自然的に捻り、(五)より(八)までは第一節(五)より(八)までに同じ。

次の八呼間は第一節二段目八呼間の運動に同じ。

次の八呼間は本節初め八呼間に同じ。

次の八呼間は第一節最後の八呼間に同じ。

第三節　三十二呼間

(一)で隣合へる右手と左手とを握り(隣合はざる手は各自腰にとる)前方に高く擧げると同時に隣合へる足を前に出し體を稍々背合せにし、(二)は其儘、(三)で出

した足と握り合つた手を後ろに引き戻し、相手と向ひ合ふ、(四)は其儘、(五)で握つた手を解いて(八)までに隣合はざる足の方を中心軸として一廻轉す。

次の八呼間は前八呼間に同じ。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰返す。

五、注意事項

A、第三節は動かす手に常に注目すること。

B、跳躍運動として課するもよし。

C、呼數を倍加すれば極めて容易であるから一、二年の教材としてもよい。

D、第一、二節の兩手を組合せて廻轉する時は、中心軸になるものは相手を引きつける樣にし、中心軸に非らざる者は體を前に傾けて廻轉す。

E、二人並びの圓陣を二重に作り內圓陣と外圓陣とを反對の向きにして行はしむれば一層面白し。

F、前三節を幾回となく繰返して行ふ。
G、ホップとは片足で跳ぶことである。

キヤリスニツクダンス

一、適用　尋常五年以上男女
二、準備　體操隊形
三、拍子　四拍子
四、方法

第一節　三十二呼間

（一）で兩臂を前屈し、右足を右に出して其の踵と、左足尖にて立ち、（二）で右足を元に復し、兩手を前に伸ばす。（三）は（一）、（四）は足は（二）の如く、兩手を側開す。（五）は（一）、（六）は足は（二）の如く、兩手を上伸す。（七）は（一）、（八）は直立す。

次の八呼間は手の運動は前八呼間と同樣に足は前と反對に行ふ。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰返す。

第二節　三十二呼間

（一）で兩手側擧、左足前出、（二）は其儘、（三）で左足を左に出し、兩手を前伸し（四）は其儘、（五）で左足後出、兩手上伸、（六）は其儘、（七）で直立、（八）は其儘休む。

次の八呼間は、兩手は前八呼間と同樣の運動を行ひ、足は前と反對の足で前同樣の運動を行ふ。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰返す。

第三節　三十二呼間

（一）で兩手上伸、左足後出、（二）は其儘、（三）で兩手を側擧し、左足屈膝前出、（四）は其儘、（五）で左足を左に出し、兩手を體前下方にて交叉する樣に圓を畫いて側擧し、（六）は其儘、（七）は直立、（八）は其儘休む。

次の八呼間は、兩手は前八呼間と同樣の運動をなし、足は右足にて前同樣に行ふ

次の十六呼間は、前十六呼間の運動を繰返す。

第四節　三十二呼間

（一）で左足屈膝側出、左手上伸、右手前屈、（二）は其儘、（三）で體を左足の方向に向けて倒し、兩手を左膝の兩側に伸ばし、（四）は其儘、（五）で體を起すと同時に、兩手上伸、（六）は其儘、（七）で直立、（八）は其儘休む。

次の八呼間は、兩手は前八呼間と同樣に右足にて行ふ。

次の十六呼間は、前十六呼間の運動を繰返す。

第五節　三十二呼間

（一）で兩手を右膝の兩側より床上に着けると同時に、左足を後ろに出し、（二）は其儘、（三）で兩手を頸にすると同時に、左足屈膝前出、（四）は其儘、（五）で兩手側伸、左足側出、體前倒、（六）は其儘、（七）で直立、（八）は其儘休む。

次の八呼間は、手は前同樣、足は右足にて前同樣の動作を行ふ。

次の十六呼間は、前十六呼間の運動を繰返す。

第六節　三十二呼間

(一)で兩手及び左足前擧、(二)は其儘、(三)で兩手側開左足を左側に轉じ、(四)は其儘、(五)で兩手上擧、左足後伸、(六)は其儘、(七)で直立(八)は其儘休む。

次の(八)呼間は手は前同樣、足は右足にて前同樣の動作を行ふ。

次の十六呼間は、前十六呼間の運動を繰返す。

第七節　三十二呼間

(一)で兩手側擧屈膝、(二)は其儘、(三)で左足屈膝側出、右手頭上半月形に、左手前屈と同時に體を左に傾け、(四)は其儘、(五)で兩足其儘、體を右に傾け左右の手を交換、(六)は其儘、(七)で直立、(八)は其儘休む。

次の八呼間の(一)(二)は前同樣、(三)で右足屈膝側出より始めて、前(三)より(八)までと同樣の要領で反對に行ふ。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰返す。

第八節　三十二呼間

(一)で兩手上擧、左足屈膝前出、(二)は其儘、(三)で左足屈膝側出、體を左に捻りながら前倒し、兩手を側伸し、(四)は其儘、(五)で體を起しながら右に捻轉し、兩手を伸ばしたるまゝ顏面上にて交叉して、左足を前出し、(六)は其儘、(七)で直立、(八)は其儘休む。

五、注意事項

A、此のダンスの說明は體操用語を用ひて解り易くした。

B、體操の如く一擧一動を嚴格に行ふことは望まない。

カマリンスカイヤ

一、適用　尋常五年以上女
二、準備　體操隊形
三、拍子　四拍子
四、方法

第一節　六十四呼間

（一）より（十二）まで右手を斜右上方、左手を斜左下方に伸ばし右足より始めて右斜前方にガロップにて前進し、（十三）で右足を右に強く出し（十四）は休む。（十五）で左足を右足の前より右へ強く出し、體を稍々右に捻りながら傾け、兩手を右斜下方に伸ばし、（十六）は休む。

次の十六呼間は前十六呼間と同樣の動作を手足を換へて反對に行ふ。

次の三十二呼間中、二十八呼間は前三十二呼間中の二十八呼間と同樣の動作を行ひ、（二十九）より（三十一）まで兩腕を胸前に組みて三歩足踏みをなし最後の一呼間は休む。

第二節　六十四呼間

（一）で跳んで右足を右に出して、蹈趾を床上に着けると同時に、右手腰左手を後頭部に當て、（二）は休み、（三）で左足で跳んで右足を前方に蹴上げ、（四）は休む。（五）より（八）まで手足を換へて前同樣の動作を行ひ、（九）より（十六）までは（一）より（八）までに同樣の運動を行ふ。

次の十六呼間は（一）で左足を右足の後ろに移すと同時に右足を前方に擧げ、兩腕を胸前に組み、（二）で其儘左足ホップ、（三）で右足を左足の後ろに移し、（十二）まで後ろに進む。（十三）より（十五）までに今まで進み來つた姿勢で、右方より後ろ向きとなり、（十六）で左足を右足の後ろに擧ぐ。

次の三十二呼間は左足より始めて前同樣の運動を反對側に行ふ。

第三節　六十四呼間

（一）で跳んで右足を右に運び、（兩手は第二節の始めに同じ。）（二）で左足を右足の方に移し、（三）で左足で跳び右足を右に蹴上げ、（四）で更に左足で跳ぶと同時に右膝を屈げて右踵が左膝の前に來る樣にし、（五）より（十二）まで前同樣の運動に依りて右に進む。（十三）より（十五）まで兩腕を胸前に組み三歩右足より足踏みし（十六）は休む。

次の十六呼間は前同樣の運動を手足を交換して反對側に行ふ。

次の三十二呼間は前三十二呼間の運動を繰返す。

第四節　六十四呼間

兩手の位置は第二節に同じ、（一）で跳んで右足を右に出し、蹠趾を床上に着け體を稍々左に捻り、（二）は休み、（三）で體を右に捻り跳んで右足は前の場處にて踵を床上に着け、左足を前に蹴上げ、（四）は休む。（五）より（八）までに尚一回繰り

返し、（九）より（十六）まで前八呼間同樣の運動を左右手足を交換して行ふ。

次の十六呼間は第二節第二段十六呼間と同樣の運動に依りて後ろに進む。

次の三十二呼間は前三十二呼間の運動を左足より始めて反對側に行ふ。

第五節　六十四呼間

（一）で右足を強く右へ踏み出して稍々其膝を屈げ體を少しく前方に傾け、兩手を伸ばしたる儘其膝の前にて交叉し、（二）は休み、（三）で跳んで體を起し兩手を左右に開き右足を右に擧げ、（四）は休み、（五）より（十四）まで同じ方法に依りて右に進み、（十五）は跳ぶことを止め兩足を揃へて爪立ち兩手を左右に開き、（十六）は休む。

次の十六呼間は前と同樣の運動を足を交換して反對側に行ふ。

次の三十二呼間は前同樣の運動を繰返す。但し最後の四呼間の中三呼間は兩腕を胸前に組みて三歩足踏みし一呼間休む。

第六節　六十四呼間

（一）で兩足を揃へて前方に跳び兩膝を外方へ向けて屈げ兩手を膝の上にて交叉し（二）は休み、（三）で跳んで兩足を開き爪尖を擧げて、踵にて立ち兩手を左右に開き、（四）は休み、（五）より（十二）まで同樣の方法に依りて前に進む。（十三）より（十五）まで兩手を胸前に組み左足より始めて三歩足踏みし（十六）は休む。次の十六呼間は第二節第二段十六呼間と同樣に右足より始めて後ろに進みて後ろ向きとなり、（十三）より（十五）まで右足より始めて三歩足踏みし（十六）は休む。次の三十二呼間は前同樣の運動を行ふ。但し（十三）より（十五）までの足踏みは右足より始めて三歩後ろへ左足より進む。

五、注意事項

可成長いが兒童は容易にやり得ることが出來る。

ワークダンス

一、適用　尋常六年以上女

二、準備　三人一組の圓陣を作り各手を繋ぐ。又手と手の間に一尺位端を垂れる樣に褌を持たしむるもよし。

三、拍子　三拍子

四、方法

第一節　十二呼間

(一)で左足を前に擦り出し、(二)で右足を左足に引きつけると同時に左足を前に蹴り擧げ、(三)で右足でホップすると同時に左足を後ろに蹴り擧げる。

以上三呼間の運動を尚三回繰返す。

第二節　十二呼間

(一)で左足の膝を屈げて前に擧げ斜左前に跳び出し、(二)で右足の膝を屈げて前に高く擧げて左足の前に踏み着け、(三)で左足の位置を變へることなく上げて下ろす。

以上三呼間の運動を尚三回繰返す。

第三節　十二呼間

(一)で左足を斜左前に踏み出し、(二)で右足を左足の後ろに運び、(三)で左足の

位置を變へることなく上げて下ろす。

以上三呼間の運動を尚三回繰返す。

第四節　十二呼間

(一)で左足を前に出し體を右に捻りながら右足を後ろに擧げ、(二)(三)の二呼間體及び右足の様子を變へることなく左足にてホップす。

次の三呼間は(一)で右足を前に出して、體を左に捻りながら左足を後ろに擧げ、(二)(三)の二呼間體及び足の様子を變へることなくホップす。

次の六呼間は前六呼間の運動を繰返す。

第五節　十二呼間

(一)より(三)まで1は後退して2 3の中間に入りて三人並びとなる。

次の三呼間に兩端の二人は其位置に後向となり膝を屈げて低くなる。

次の三呼間に1は前に進みて舊位置に復す。

次の三呼間兩端の二人は立ちながら舊の方向に向く。

第六節　十二呼間

(一)で左の繋ぎ手を高く擧げながら斜左前に左の足を擦り出し、(二)で右足を左足の後ろに引き寄せ、(三)で兩踵と擧げた手を下ろす。

次の三呼間に(一)で右の繋手を高く擧げながら斜右前に右の足を擦り出し、(二)で左足を右足の後ろに引き寄せ、(三)で兩踵と擧げた手を下ろす。

次の六呼間は前六呼間の運動を繰返す。

五、注意事項

A、女子の軟い跳躍運動としてよい。

B、三拍子は少し最初にやりにくいが變化があつて面白い。

ウオシユメンダンス

一、適用　尋常六年以上女

二、準備　二列縱隊の圓陣を作り兩手を腰にとり前後の隔りは三尺位とす。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　十六呼間

(一)で外側生は左足（內側生は右足）を一歩前に出し、(二)で後ろの足を前の足に引きつけると同時に前の足を前に蹴り上げ、(三)で擧げた足を立てる足の前に膝を屈げて、振り上げると同時に立てる足にてホップし、(四)で擧れる足を踏み着く。

次の四呼間は外側生右足（左足）より前四呼間の運動と同じ要領にて行ふ。

次の八呼間は(一)より(六)までは前八呼間の(一)より(六)までと同樣に行ひ、最

後の二呼間に互に向き合ふ。

第二節　十六呼間

(一)より(四)まで外側生は左足（右足）を前に擧げて輕く跳ぶ。
次の四呼間は足を換へて前同樣の運動を行ふ。
次の四呼間は前八呼間に行ひたる動作を二呼間に行ふ。
次の四呼間は(一)で拍手一回をなし、外側生は左足（右足）より前進して、(四)までに互に相手の位置に至りて一廻轉し向ひ合ふ。

第三節　十六呼間

(一)より(十二)までは前節同樣の運動を行ひ、最後の四呼間最初の外側生は左足（右足）より出發して舊位置に復し、互に背を向けて立つ。
出發の時拍手一回をなすこと前に同じ。

第四節　十六呼間

(一)より(十二)までは第二節同樣の動作を行ひ、最後の四呼間に外側生は右足（左足）より始めて足踏みしながら左廻り（右廻り）して互に向き合ふ。
第一の足踏みを初める時拍手一回をなすこと前に同じ。

第五節　十六呼間

(一)で各兩足にて一歩後ろに跳び、(二)より(四)まで各右足を擧げて左足の前に振り、(五)で一歩前に跳び、(六)より(八)までは各左足を擧げて右足の前に振る。
次の八呼間の(一)より(七)までは、前(一)より(七)までの如く行ひ、(八)で兩足を揃へて立つ。

第六節　十六呼間

(一)で各左足を一歩左に出し、(二)で右足を左足に引きつけ、(三)(四)の二呼間に右、左、右と三歩足踏みをなす。

次の四呼間は(一)で左足を前に擧げ、(二)より(四)まで右足にてホップをなす。
次の四呼間は(一)で左足を踏み着けて右足を後ろに擧げ、(二)より(四)まで左足にてホップをなす。
次の四呼間は、(一)で右足を踏み着けて左足を一歩左に出し、(二)で右足を左足に引きつけ、(三)(四)の二呼間に左、右、左と三歩足踏みをなすと共に最初の方向に向く。

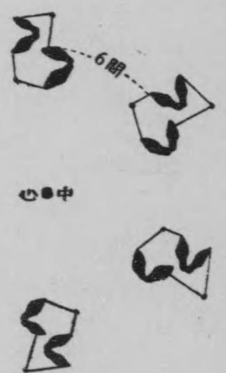
五、注意事項

A、輕い跳躍であるから女子にはよい。
B、本文中の( )はすべて內側生のことである。

カローヴアチカ

一、適用 尋常六年以上女

二、準備 二列の圓陣を作り列間を一間位とす。外側の者は左手を內側の者の前に伸ばして內側の者の左手と握り合ひ內側の者の右手は外側の者の後ろに廻して外側の者の右手と握り合ふ。



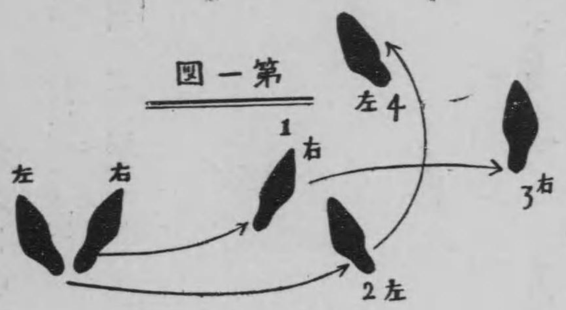
三、拍子 四拍子

四、方法

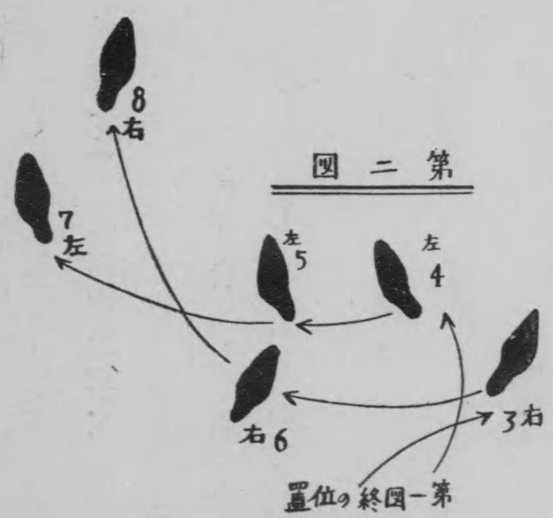
第一節 三十二呼間

（一）で右を右足に出し、（二）で左足を右足の後ろより右へ出し、（三）で右足を又右へ出し、（四）で左足を右足の前より右に出し、動作を止むることなく（一）より

第一圖



第二圖



第一圖終の位置

（四）までに第一圖の如く半月形を描く。

（五）で左足を左に出し、（六）で右足を左足後方より左に出し、動作を止むることなく第二圖の如に出し、（八）で右足を左足前方より左に出し、動作を止むることなく半月形を描く。

次の八呼間は、（一）で右足を一歩前に進め、（二）は其儘休み、（三）で左足を右足の前にて半圓形を描いて一歩進む。（四）は其儘休み、（五）より（八）まで次圖の如く前進す。

次の十六呼間は前十六呼間の運動を繰返す。

第二節　三十二呼間

（一）より（三）まで外側の者は右足より三歩斜右前に進み、（四）で兩足の位置を變へることなく後ろに向き、（此時左足が前に出て居る。）上體を稍々前に傾け、（五）より（七）まで左足より三歩前へ舊位置に復する爲に進み、（八）で兩足を揃ふ。此時外側の者は後ろ向きとなりて互に相手と右肩を並ぶ。（次の圖參照）

次の八呼間は、（一）で互に相手と背合せに右足を右に出し、體の重心を右足に托

して出來得る限り上體を右に傾け、（二）は其儘休み、（三）で體の重心を左足に托し、上體を出來得る限り左に傾け、（四）は其儘休み、（五）（六）の二呼間に右足より始めて三歩足踏みし、（七）（八）の二呼間に同しく左足より始めて三歩足踏みしながら、外側の者は右に半廻り、內側の者は右に一廻りして、左右の者は互に位置を交換す。

次の十六呼間は前の十六呼間外側の者の爲したる運動を新しき外側の者が行ひ、內側の者の爲したる運動を新しき內側の者が行ふ。斯くして最後に準備の姿勢に復す。

五、注意事項

A、足踏みの外は悉く擦足にて行ふ。

B、一人になれば常に手を腰にす。

C、準備運動又は整理運動としてよし。

ホップダンス

一、適用　尋常六年以上女

二、準備　體操隊形に排列し掌を外向きにして兩手を腰にとる。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　十六呼間

(一)で左足を左斜前に出し左手の掌を上向きにして左足と並行に伸ばし、全身を稍々その方向に傾く。(二)で傾けた全身は其儘、左足を後ろに膝を屈げて擧げ左手を腰にとる。(三)は(一)、(四)は兩手腰直立となる。

次の四呼間は右足右手を用ひて右方に前同樣の運動を行ふ。

以上の運動を更に一回繰返す。

第二節　十六呼間

(一)で左足を左斜後ろに出すと同時に左手を半月形にして頭上に擧げ、右手の掌を下に向けて左腋下に運び、全身を左に捻轉しつゝ前に傾く。(二)は其儘休む。

(三)で右足にて立ち右手の掌を下より上に轉廻しつゝ右斜上方に伸ばし、左手は左足と並行に伸ばし全身が右斜前に伸びあがつた時左足の趾尖にて床上を一回打つと同時に右手の掌を下に向く。(四)は其儘休む。

以上四呼間の運動を更に三回繰返す。

第三節　十六呼間

(一)で左足を左側方に踏み着く。(二)で左足ホップと同時に右足踵を左膝の前に運ぶ此の時左手は左側上方に振り擧げ掌を內に向け、右手は體前下方より胸前まで振り擧げて掌を外に向く。(三)で右足を右側方に踏み着く。(四)で右足ホップと同時に左足踵を右膝の前に運ぶ。此の時左右の手は(二)の時と反對の運動を行ふ。

以上四呼間の運動を更に三回繰返す。

第四節　十六呼間

(一)で左足にて立ち體を半ば右に向けて右足を後方に擧げ左手頸右手を腰にす。(二)で其儘左足ホップをなす。(三)で體を正面に向けると同時に右足を前方に擧げ、手は指尖をよく伸ばして右手を斜右上方に左手を後方に伸ばす。(四)は其儘左足ホップをなす。

次の四呼間は(一)で右足にて立ち體を半ば左に向けて左足を後方に擧げ右手頸左手を腰にす。(二)で其儘右足ホップをなす。(三)で體を正面に向けると同時に左足を前方に擧げ、手は指尖をよく伸ばして左手を斜左上方に右手を後方に伸ばす(四)は其儘右足ホップをなす。以上八呼間の運動を更に一回繰返す。

第五節　十六呼間

(一)で兩手を腰に取り左足を左斜前に踏み着けると同時に、右足を左足の後方に

引き着く。(二)で左足を左斜前に蹴り擧げると同時に左手の掌を上に向けてその方向に伸ばし、右手は頭上に半月形を作る。(三)で右足ホップと同時に左踵を右膝の前に運び、左手を頭上半月形に擧げ右手の掌を上に向けて胸前に持ち來る。(四)で左足を右足の前に踏み着け兩手を腰にとる。

次の四呼間は右足を右斜前に出すことより初めて前と手足を換へて同樣の運動を行ふ。

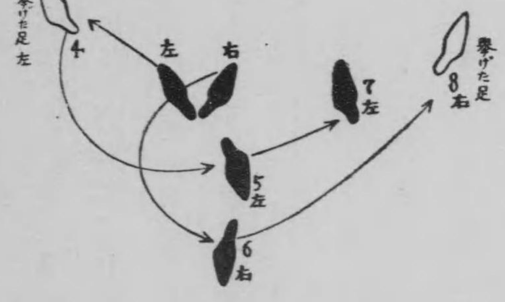
以上の八呼間の運動を更に一回行ふ。

第六節　十六呼間

(一)で右足尖ホップにて斜左に向き、右足の中間に左足蹠を立て、趾を床上に着く。(二)で右足ホップと共に左足を左斜前に蹴り擧げ、それと並行に左手の掌を上に向けて伸ばし、右手は頭上に半月形を作る。(三)は(一)、(四)は(二)に同じ運動をなす。

次の四呼間は(一)より(三)までに次圖の如く足を運んで左廻りの一廻轉をなし、(四)で右足を右斜前に蹴り擧げ右足と並行に右手の掌を上に向けて伸ばし左手は頭上に半月形を作る。

足の運び方



(六)の時後ろ向きとなり(七)の時正面に復す。

以上八呼間と同樣の運動を手足を換へて反對に行ふ。

但し最後の足は蹴り擧げることなく準備姿勢に復す。

五、注意事項

A、第三節は高く振り擧げたる手尖を見る樣に顔を其方に向くること。

B、第四節は非常に調子が速くなりすぎる傾がある。

C、第五節は困難なるに依り特に練習すること。

D、第六節は足の運び方を先に練習して取りかゝること。

E、跳躍運動として課するに適當である。

キウバダンス

一、適用　尋常六年以上女

二、準備　體操隊形に排列し掌を外向きにして兩手を腰にとる。

三、拍子　四拍子

四、方法

第一節　三十二呼間

(一)で左方に體を稍々捻轉すると共に左足小趾を床上に摺りながら斜左前に出して眼を之に注ぐ。(二)で左足及體を舊位置に復すると同時に左、右、左と足尖にて足踏をなす。

(三)、(四)は右足を用ひて(一)、(二)と同じ方法にて右方に行ふ。

以上の運動を三十二呼間繰返す。

第二節　三十二呼間

(一)で左足を左側方に出して蹈趾を床上に着く。(二)で其足を前方に運びて小趾を床上に着く。(三)で右膝を稍々屈すると同時に左足蹠を床上と並行に一寸程離して左足を伸ばした儘前に出す。(四)で右膝を伸ばすと同時に左足を右足の前に踏み着く。

(五)より(八)まで右足を用ひて前同樣に運動を行ふ。

以上の運動を三十二呼間繰返す。

第三節　三十二呼間

(一)で左足を左斜前に摺り出すと同時に右足を左足の踵に接する樣に右足を摺り出す。(二)で更に左足を一歩小きく左斜前に出す。(三)で右足を右斜前に出すと同時に左手を半月形に頭上に擧げ右手は掌を上に向けて右足と並行に下に伸ばし全身を稍々右方に傾け眼は右手尖右足尖を一直線に見る樣にす。(四)で全身を起すと同時に右手を半月形に頭上に擧げ左手を下に垂れる。

（五）より（八）までに右足より初めて前同様に反對の運動を行ふ。

以上の運動を三十二呼間繰返す。

第四節　三十二呼間

（一）で兩手を腰にして體を九十度左に向けながら左足を一歩後ろに引き、右足も左足に接する如く其方向に一歩退く。（二）で體の方向を變へることなく左足を更に一歩左に踏み出す。（三）で體を百六十度右に向けながら右足を一歩後ろに踏み出し、左足はそれに接する如く其方向に一歩退く。（四）で更に右足を一歩右に退く。

以上の運動を左右交互に三十二呼間繰返し最後に正しく最初の方向に向つて直立す。

第五節　三十二呼間

（一）で體を左に捻轉しながら左足を左斜前に摺り出す。（二）で右足を左足の踵に

近く運ぶと同時に左足を左斜前に蹴上げる。（三）で右足尖で小さく其場にホップすると同時に左足を屈げて踵を右膝の前に持ち來る。（四）で左足を右足の前に踏み着ける。

（五）より（八）まで右足にて前同樣の運動を右方に行ふ。

以上の運動を三十二呼間繰返す。

第六節　三十二呼間

（一）で兩手を頭上に擧げて圓を作り兩手尖の相向へる所に眼を注ぐと同時に左足尖にて床上を一回打つ。（二）で手、體は其儘左足尖にて今一回床上を打つ。（三）で兩手を腰にとり眼を足尖に注ぎながら左足を一足後ろに運ぶと同時に右足もそれにつれて後ろに運ぶ。（四）で更に左足のみを一歩後ろに運ぶ。

（五）で兩手及び眼は（一）の如く右足を一歩後ろに運ぶと同時にその足尖にて床上を一回打つ。（六）より（八）まで左足にて行ひたると同樣に右足にて行ふ。

以上の運動を三十二呼間繰返す。

第七節　三十二呼間

(一)で兩手を側擧すると同時に左足を左斜前に摺り出し右足は左足の後ろに進めて兩手首を輕く一回振る。(四)まで同樣にして左斜前に進む。(五)で右足を右斜前に一歩踏み出すと同時に體を其方向に傾け兩手で右足前に圓を作る。(六)より(八)までに體を起し兩手を側擧す。

次に右足にて前同樣の運動を八呼間に行ふ。

以上の運動を三十二呼間繰返す。

第八節　三十二呼間

(一)で左手腰右手を半月形に頭上に擧げ左足を一歩後ろに引き右足を續いて運ぶ(二)で左足を更に一歩後ろに運ぶ。(三)で兩手を換へ右足を一歩後ろに引くことより初めて前の樣な運動を(四)までに行ふ。

以上の運動を三十二呼間繰返す。

第九節　三十二呼間

(一)で左足を前方に振り擧げ、(二)で其足を一歩左側方に踏みつく。(三)で右足を後ろに振り擧げ、(四)で其足を左足の側に踏み着く。

次の四呼間は前同樣に行ふ。

次の四呼間は(一)で右足を前に蹴り擧げ、(二)は右足其儘左足で輕くホップす。(三)で右足を後ろに振り擧げ、(四)で右足其儘左足で輕くホップす。

次の四呼間は(一)で左足尖て後ろの床上を一回打つ。(二)で更に一回床上を打つ(三)で右足を右後ろに踏み着く。(四)で右足を舊位置に復す。

次の十六呼間は右足を前方に振り擧げることより初めて前同樣の運動を足を取換へて行ふ。

第十節　三十二呼間

(一)で左足を左斜前方に踏出して體重をそれに托し右足を後方に擧ぐる爲に全身を右斜前に一直線に倒すと同時に左手を體の方向に眞直に左斜上に伸ばし右手は其反對の方向に眞直に伸ばす。(二)は其儘休む。(三)で體を起して右足にて立ち左足の踵を右膝の前に運ぶと同時に體を稍々前方に屈げ左右の手を掌を下に向けて胸前に持ち來る。此場合右手は下にある樣にす。(四)は其儘休む。

次の四呼間前同樣に行ふ。

次の四呼間(一)で各手にてスカートを少し摘み擧げ、(二)より(四)までに左足を右足前方より右後方に深く廻し體を屈めて右廻り一廻轉をなす。

次の四呼間(一)で兩掌を輕く握りて屈臂し左足にて一つ足踏みす。(二)より(四)までに右足より初めて三歩足踏す。

次の十六呼間は前の十六呼間と同樣の運動を右方に反對に行ふ。

五、注意事項

A、第一節の足踏は微妙なる運動なれば十分の練習が大切である。

B、第三節の手を半月形に頭上に擧げる時には眼をそれに注ぐこと。

C、第四節の退く歩幅は極めて小さくすること。

D、第五節のバランスは調子が速くなり易いから初めより注意すること。

E、第七節は横に動き易し左又は右斜前に十分進むことが大切である。

F、第十節のターンは特に念入りに練習することが大切である。

G、此ダンスは排列亂れ易きを以て最初より十分之に注意すること。

H、整理運動として課するに適當である。

大正十四年九月五日印刷
同　九月九日發行

定價貳圓

著者　小瀬峰洋

發行者　東京市芝區八幡町二十五番地　岡本正一

印刷者　東京市京橋區木挽町二ノ十三　遠藤近吉

發行所　東京市芝區八幡町二十五番地　厚生閣
振替東京五九六〇〇番

版權所有

學校舞踊三十四講

東京高等師範訓導

千葉春雄先生著

『私の國語教育帳上巻』

◆定價三圓四十錢
送料書留廿五錢

秩序の名を着て自由を呪ひ、傳統に隱れて個性を虐殺した劃一主義の教育は今や白日の下に曝されて最後の審判を受ける。殊に民族文化の象徴、時代精神の表現たるべき國語の教育に於て、如何に頑冥な概念主義が芽ばえ行く生命を阻止し、自然の成長を蹂躙したか。著者の國語教育家としての奮激は其處にあつた。爾來改正國語讀本を素材として研究七年。玆に國語教育の新理想を把握した。そは國語を教室より街頭への解放であり、概念の殼を脱却して人間を發見することだ。これ正に教育界への文藝復興だ。

『童謠と綴方』

◆定價一圓八十錢
送料書留十五錢

近代人が科學の扉を叩いて神を失つた如く、現代の兒童は主智主義の教育によつて聖なる藝術への憬憧と詩の世界を失ひつゝある。著者はその悲しみにたえ得ずして幼き者の人間性擁護のため、童謠と綴方の新しき意義を提唱する。この一書こそは主智主義の教育界に投げつけた『自然に還れ』の叫びであり、藝術教育の第一線を指圖するものだ。

小黑俊治著
新思潮に基ける
算術學習指導の實際
四六版 布製 函入 二、三〇 二〇

本書は國民教育奬勵會の選に應じて名譽の月桂冠を得たる新研究を當局允許の下に公刊せるものである。徒に理論を弄せず、實際教壇上の苦心を生ける血と肉とを以つて示してある。算術教育の活路を開くであらう。

東京青山師範教諭
長竿愼著
學習整理
入學準備
算術基本問題練習書
菊版 別製 一、〇〇 八

最近中等學校の入學試驗問題は著しく變化し其範圍は小學校で學習したものを一歩も越さぬと云ふ傾向が明らかになつた。從つて在來の準備書が其價値を失つたとき本書の出現は小學上級生への一大福音である。

熊本第一高等女學校長
吉田惟孝著
ダルトン式學習の實施經驗
四六版 特裝 函入 二三、〇 一五

著者が曩に著した、ダルトン式教育の研究及ダルトン式學習の實際研究の二書が大震災の時全部燒失された爲め、本書は此二書を基にし、著者の學校で實施して得た經驗を加へて增補改題したものである。

同
吉田惟孝著
英國小學校の教室學習教員勤務の實狀
四六版 上製 函入 一、八〇 一五

英國小學校の授業中の實況と生徒の演習振りを興味深く活叙し、教師が兒童開發に如何なる狙ひを置くか、又小學生が如何に群團生活から巧みに叡智と紳士道を吸引するかを說いて、英國流初等教育の眞諦を傳ふ。

東京成城小學校訓導
諸見里朝賢著
低學年理科教授の理想と實際
菊版 布製 函入 四、五〇 二三

著者は成城小學校創立以來、日本最初に低學年兒童に理科教授を試み、全國教育家の視聽を集めた人、其積年の生きた體驗を基礎として一二三年用の理科教材と教授方法を說いて我教育界未踏の荒野を開拓せる書。

水島爾保布著 **愚談**	四六版 特裝 函入	二、〇〇 一五	著者は漱石のユーモアと浪六の逸脫味に畫家の纖美感をもつた天才的愚談家、或は啖呵の如く人情噺の如く或は訴ふ如く嘲笑ふ如く四十八手の秘術を以て現代社會の斷面を發く。特に「惡食問答」は世界的な珍材！
エフイシエンシイ協會長 池田藤四郎著 能率增進**科學的**最新經營法の**實例**	四六版 特裝 函入	四、五〇 一八	資本と勞働を生產鐵則としたは過去の夢、資本主義と社會主義は既に暗礁に乘上げた。科學的經營法は資本と勞働を征服して生產上の玉座を占む、此事實を明示する米國一流の模範工場會社數十社の經營法を公開
御木本隆三著 **ラスキン研究** 彼の美と、德と、經濟と	菊版 布製 函入	三、八〇 二四	藝術を說いて經濟に觸れ、經濟を說いて銳く宗教道德に徹したラスキンの社會思想を說くに、當代の傑物カーライル、ミル、トルストイ、ロゼッチ等の道德觀經濟觀藝術觀との比較照合を以てせる著者最近の研究。
工學博士 佐藤定吉著 **自然科學と宗教**	菊版 絹裝 函入	四、五〇 二七	普遍的眞理を求むる科學も、個人經驗に道を慕ふ宗教も共に同じ高嶺に月を仰ぐ。自然は神の書いた一卷の書物、其處に無聲の聲があり啓示があると。自然科學を通じて神に還元せる著者の思想系統を傳へた記錄。
東京高等師範學校訓導 千葉春雄著 **私の國語教育帳**上卷	菊版 布裝 函入	三、四〇 二五	本書は改正國話讀本を素材にして研究七ケ年。國語教育の新理想を把握した著者の國語教育觀。（內容）國語教育私語。國語讀本の諸思想。國語の教育をする人、兒童觀。教授及學習の五章よりなるもの。
東京高等師範學校訓導 宮川菊芳著 **讀方教育の鑑賞**	四六版 特裝 函入	二、〇〇 一八	藝術は生命の表現だ。わけて文藝はその全的躍動を表現する頑迷なる道德や冷やかな理智の代りに浪打つ生命のリズムを與へ燃ゆる人間味に觸れしむるものは文藝である。斯くして讀方教育は文藝精神への開眼だ。
東京高等師範學校訓導 青柳善吾譯 **國語として觀たる音樂**	四六版 美本	一、四〇 一五	小學校で與へられる音樂は單なる歌ひ方に過ぎず藝術の力と喜びとを失つてゐる。本書は音樂をして國語の如く普遍化せしむべき目的を以て、平易懇切に其の新しき音樂教授上の教養と實際原理とを手ほどきした。
厚生閣編 その一、その二、その三、その四、 動作のついた**ヤサシイ唱歌**	四六版 美本	各五五 各〇二	情操教育の第一步として、歌詩作曲振付共に斯道の經驗豊かな諸先生に乞ふて、兒童が容易に理解して、自由に歌ひ自由に踊り得る作品を特選した。全四集、家庭に學校に幼稚園に是非一組を備ふべきである。
醫學博士 宮入慶之助序 醫學士 眞島隆輔譯 醫學士より觀たる**兒童教育**	四六版 上製 函入	一、五〇 一三	天才教育、早教育の唱へらるる半面、驚く可き不良兒の發生と秀才兒童の夭折とが深甚なる社會的恐怖を釀しつつある時、著者は現代の臨床醫學の立場から兒童教育の眞義を說き此が徹底的救濟の道を啓示せる書。
宮城縣師範學校訓導 內海靖著（尋常五年） **改正小學國史之教授**	四六版 上製 函入	三、五〇 一八	改正されたる小學歷史を堅實なる現代精神と透徹せる史眼に據つて解說せる書。加ふるに主要なる地圖書畫は勿論、史談物語傳記異聞等の參考事項は比類なく網羅され、教授用書として最高聲價を負ひつつある書、

エト4L30

井上國吉 早川嘉七 共著 **哲學と體驗と教育**	四六判 布製 函入	二五、〇 二〇	哲學は人間生活の原理であり、教育はその上に咲く現實の花である。今や哲學は病み教育は基調を失ひ混迷の中に放浪しつゝある。之を救濟するものは體驗主義の哲學なる所以を明らかにし教育改革を力說せる名著。
文學士 松原寛著 **宗教文化の創造**	菊版 上製 函入	三、五〇 二一	宗教文化の建設を以て人生最高の價値創造なりとなす少壯哲人が、眞理の法燈を高く翳して、現代の宗教思想教育思潮を縱橫に批判し、進んで自家の宗教教育論を提唱す。理想なく哲學なき現代教育界への一警鐘。
理學博士 三枝彥雄著 科學雜記 **相對性への道**	四六版 天金 函入	二五、〇 一五	ニュートンからアインシタインへ行く迄の科學界の底流的思想を明かにした「科學雜記」を主篇とし、自然法則と人間性とを比較推論せる「無生物から人間性へ」「自然法則と我等の生活」の二論を加へた博士の近業。
東京市編纂 **東京の史蹟**	四六版 挿畫入 布製	二、三〇 二〇	道灌が武藏野の一角に城を築いてから今日の東京に至るまで文化の根幹をなして數百年、又數々の歷史が藏されてゐる。時と共に亡び行く史蹟は大震火災に呪はれて微塵に打碎かれた。市當局は幾多の困難を冒して三上、芳賀諸博士に乞ふて正確に調査公刊す。
井上芳郎著 原始時代 **の宗教と其藝術**	四六版 布裝 函入	二、五〇 一七	西方亞細亞地方を中心として、數千年間沈默の地下に埋沒されたる遺物を發掘し、古代文化人が其處に如何に不可思議なる宗教を有し如何に偉大なる藝術を生んで、光輝ある生活をなし來りしかを研究せるもの。

終